

# 議会の動き



# 第1期議会

定数16人

[昭和24年9月] → [昭和28年9月]



## 選挙と議会構成

忠類村初代の村議会選挙は、昭和二十四年九月十日に執行する旨、開村日を迎えた同年八月二十日に告示され、次の十六人が立候補し、無投票当選となった。

### ■議員名簿

西久保国市（農業・下幌内）  
古住 基（農業・東忠類）  
坂本 宗一（木材業・上忠類）  
高橋 清（農業・西当縁）  
三島 藤市（木材業・上忠類三区）  
島 清記（農業・忠類）  
深沢 有国（商業・上忠類一区）  
木幡 長助（農業・西当縁）  
立川 市松（商業・上忠類一区）  
山崎 要松（農業・公親）  
尾崎 健三（農業・幌内）  
紺野 美明（農業・新忠類）  
押田 源治（土建業・上忠類）  
大和田貞雄（農業・新当縁）  
真鍋七三吉（農業・西忠類）  
鈴木 幹彌（農業・中当縁）

### ■議長・副議長

開村後の初議会となった、昭和二十四年九月十七日の第一回臨時会において、正副議長の選挙が行われ、議長に立川市松議員、副議長に鈴木幹彌議員がそれぞれ当選した。

議長 立川 市松 副議長 鈴木 幹彌

■ 常任委員会（委員長、○委員長代理者を示す）

昭和二十五年五月の第三回定例会において、忠類村議会常任委員会及び特別委員会条例の設定についてが可決され、総務、教育、経済、土木の各委員会が設置され、次のとおり各委員長及び委員が選任された。

総務委員会（定数四人）

深沢 有国 委員 古住 基、尾崎 健三、山崎 要松

教育委員会（定数三人）

高橋 清 委員 紺野 美明、押田 源治、

経済委員会（定数三人）

真鍋七五三吉 委員 島 清記、大和田貞雄

土木委員会（定数四人）

三島 藤市 委員 木幡 長助、西久保国市、坂本 宗一

昭和二十六年三月の第三回定例会において、忠類村議会常任委員会及び特別委員会条例の一部を改正する条例が可決され、総務、教育、経済、土木の四委員会が総務、産業の二委員会に変更になり、次のとおり各委員長及び委員長代理者並びに委員が選任された。

総務委員会（定数七人）

深沢 有国 ○高橋 清 委員 古住 基、尾崎 健三、

山崎 要松、紺野 美明、押田 源治

産業委員会（定数七人）

木幡 長助 ○真鍋七五三吉 委員 大和田貞雄、三島 藤市、

坂本 宗一、西久保国市、島 清記

# トピックス

## 初めての村議会開かれる

分村して初めての村議会が、昭和24年9月17日に忠類神社に招集された。

午前10時30分、遠藤村長が「忠類村議会開会」を宣告したあと、抽選により席次を定めた。

木幡長助議員が仮議長となり、開議を宣告したあと、議事に入り「議長及び副議長長の選挙について」を議題とし、無記



忠類神社

名投票によりそれぞれ選挙が行われ、議長には9票を得票した立川市松議員が、副議長には10票を得票した鈴木幹彌議員が当選した。

立川議長、鈴木副議長の就任挨拶のあと、「村議会定例会条例設定について」を原案のとおり可決し、午後3時45分に議長が散会を宣告して、この日の会議を閉じた。

## 村民税の額を議会で決定

昭和24年11月の第1回定例会において「昭和24年度村民税各個賦課額決定について」と「村民税免除について」が提案され、審議の結果、原案を修正して可決した。

分村当時の村民税の賦課額は、行政区より提出された資料に基づき、前年の所得や職業、家庭状況等により30区分され



開村当時の役場職員

た等級により、議会において審議し、必要に応じて修正を加えたのち議決により決定した。

昭和24年度の賦課戸数は571戸で、賦課総額1,142,000円（1戸平均2,000円）であった。

この制度は、関係者の間では「みたて税」とか「みたて割り」と称されていたが、翌年「忠類村税条例」が制定されたため、この年で姿を消した。



# 第2期議会

定数16人

[昭和28年9月] → [昭和32年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第二期村議会議員選挙は、二十三人が立候補し、昭和二十八年九月一日に投票が行われ、次の十六人が当選した。

### ■議員名簿

- 笠間 将栄（一期・医師・上忠類二区）
  - 紺野 美明（二期・農業・新忠類）
  - 松田 繁雄（一期・会社社長・上忠類一区）
  - 高嶋 強平（二期・農業・西忠類）
  - 高橋 義一（二期・農業・忠類）
  - 尾崎 健三（二期・農業・幌内）
  - 宮町 清一（二期・農業・公親）
  - 大和田貞雄（二期・農業・新当縁）
  - 島 清重（二期・農業・西萌和）
  - 山崎 要松（二期・農業・公親）
  - 内藤太久郎（二期・農業・新田）
  - 木幡 長助（二期・農業・西当縁）
  - 蛭原 秀衛（一期・農業・幌内）
  - 鈴木 幹彌（二期・農業・中当縁）
  - 古住 基（二期・農業・東忠類）
  - 山崎 實（一期・会社社長・上忠類一区）
- \*笠間将栄議員（昭和二十九年七月）、内藤太久郎議員（昭和二十九年十月）、山崎實議員（昭和二十九年十月）の退職に伴う忠類村議会議員補欠選挙が昭和二十九年十一月一日に投票が行われ、次の三人が当選した。
- 下山 純造（二期・農業・栄町）
  - 真鍋七五三吉（二期・農業・西忠類）
  - 上嶋 富一（二期・鉄工業・錦町）

## ■議長・副議長

改選後の初議会となった、昭和二十八年九月の第五回臨時会において、正副議長の選挙が行われ、議長に山崎實議員、副議長に笠間将栄議員がそれぞれ当選した。

議長 山崎 實 副議長 笠間 将栄

\* 山崎實議長、笠間将栄副議長の議員の退職に伴う正副議長の選挙が、昭和二十九年十一月の第六回臨時会において行われ、議長に大和田貞雄議員、副議長に古住基議員がそれぞれ当選した。

議長 大和田貞雄 副議長 古住 基

## ■常任委員会（委員長、委員長代理者・副委員長を示す）

昭和二十八年九月の第五回臨時会において、総務、産業の各委員会の各委員長及び委員長代理者並びに委員が、次のとおり選任された。

### 総務委員会（定数七人）

大和田貞雄 ○古住 基 委員 紺野 美明、尾崎 健三、内藤太二郎、蛸原 秀衛、鈴木 幹彌

### 産業委員会（定数七人）

山崎 要松 ○木幡 長助 委員 松田 繁雄、高嶋 強平、高橋 義一、宮町 清一、島 清重

昭和三十一年九月の第三回定例会において、忠類村議会委員会条例の設定についてが可決され、総務、産業の各常任委員会が設置された。各正副委員長及び委員が同議会において、次のとおり選任された。

### 総務常任委員会（定数八人）

蛸原 秀衛 ○紺野 美明 委員 真鍋七五三吉、下山 純造、尾崎 健三、鈴木 幹彌、上嶋 富一、大和田貞雄

### 産業常任委員会（定数八人）

山崎 要松 ○木幡 長助 委員 松田 繁雄、宮町 清一、高橋 義一、高嶋 強平、島 清重、古住 基

# トピックス

## 議会議員選挙は

### 23人立候補で激戦

昭和28年9月9日を以って任期満了となる村議会議員選挙は、7月24日に開催された選挙管理委員会において、選挙期日を9月1日とし村長選挙との同時選挙に決定された。

選挙期日の告示日である8月22日に、定数16人に対し23人が立候補届を出した。



伏見村長と第2期議会議員

9月1日午前7時より村内4投票所において投票は開始された。当日の有権者は1,591人、投票者数1,535人、棄権者数56人で投票率は96.48%であった。即日開票の結果、現職7人、新人9人が当選した。

なお、村長選挙は2人が立候補し、寺田真一が当選した。

## 「町村合併に関する知事勧告」を拒否

昭和28年9月に制定された町村合併促進法による合併案が29年2月に道から示されたが、村議会では道の案は認められないとして、同年4月の第3回臨時会において、大津村の生花苗、晩成地区に更別村上更別地区などを含めた「忠類村合併計画」を決議した。

その後、村及び村議会は、生花苗、晩



合併問題を陳情する門崎村長

成地区との合併が住民の総意との上申書を道に提出したが、道は「大樹町との合併」を最終案として、昭和32年1月9日に「町村合併に関する知事勧告」を行った。これに対し、村では「忠類村自立推進協議会」を開いて「自立決議」を行い、同年5月17日に「大樹町との合併には反対である」との回答文を道に送付し、正式に合併反対を表明した。



# 第3期議会

定数12人

[昭和32年9月] → [昭和36年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第三期村議会議員選挙は、十八人が立候補し、昭和三十二年九月一日に投票が行われ、次の十二人が当選した。

### ■議員名簿

蛭原 重一（一期・畜産業・白銀町）  
松田 繁雄（二期・会社社長・栄町）  
古住 基（三期・農業・東宝）  
飯田千代二（一期・会社員・幸町）  
小原 芳夫（二期・農業・日和）  
鈴木 壽彌（二期・農業・古里）  
大和田貞雄（三期・農業・中当）  
真鍋七三吉（三期・農業・西忠類）  
宮入 敏（二期・農業・西当）  
島 清重（二期・農業・共栄）  
高橋 義一（二期・農業・元忠類）  
蛭原 秀衛（二期・農業・明和）  
\* 島清重議員（昭和三十四年四月）、蛭原秀衛議員（昭和三十四年四月）の退職に伴う忠類村議会議員補欠選挙が昭和三十五年六月十二日に投票が行われ、次の二人が当選した。  
山崎 要松（三期・農業・公親）  
紺野 美明（三期・農業・新生）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、昭和三十二年九月の第五回臨時会において、正副議長の選挙が行われ、議長に大和田貞雄議員、副議長に古住基議員がそれぞれ当選した。

議長 大和田貞雄 副議長 古住 基

＊古住副議長の議員の退職（昭和三十五年六月）に伴う副議長の選挙が、昭和三十五年六月の第二回定例会において行われ、副議長に真鍋七五三吉議員が当選した。

副議長 真鍋七五三吉

■常任委員会（委員長、副委員長を示す）

昭和三十二年九月の第五回臨時会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

総務常任委員会（定数六人）

蛇原 秀衛 ○真鍋七五三吉 委員 宮入 敏、飯田千代二、

小原 芳夫、大和田貞雄

産業常任委員会（定数六人）

松田 繁雄 ○島 清重 委員 高橋 義一、蛇原 重一、

鈴木 壽彌、古住 基

＊蛇原秀衛総務常任委員長、島清重産業常任副委員長の議員の退職に伴う正副委員長の選任が、昭和三十四年四月の第二回臨時会において行われ、総務常任委員長に宮入敏議員、産業常任副委員長に高橋義一議員がそれぞれ選任された。

総務常任委員長 宮入 敏 産業常任副委員長 高橋 義一

＊昭和三十五年六月の第二回定例会において、同年六月十二日執行の補欠選挙により当選した紺野美明議員が総務常任委員に、山崎要松議員が産業常任委員にそれぞれ選任された。また、真鍋七五三吉総務常任副委員長の副議長就任により、紺野美明委員が総務常任副委員長に選任された。

総務常任副委員長 紺野 美明

## トピックス

### 「国民健康保険の実施」を議決

昭和34年3月の第1回定例会において、「国民健康保険の実施について」を原案のとおり可決した。

これは、本村国民健康保険を昭和34年4月1日より開始するというもので、昨年から区長会議等で住民の意向を取りまとめていた。

これに伴って提案された国民健康保険



渡部医院

特別会計予算は、総額360万円で、歳出の主なものは保険給付費に243万円、職員費に73万円、保険施設費として31万円、また歳入の主なものは保険税が198万円、国庫支出金が145万円、その他が17万円となっており、この事業を行うための国民健康保険条例や国民健康保険税条例とともに原案のとおり可決された。

### 「開村10周年記念行事」を協議

昭和34年3月の第1回定例会において「開村10周年記念行事の実施について」を協議した。

開村10周年記念事業は、8月20日午前6時、花火の合図とともに村をあげてのお祝いが始まった。忠類小学校で行われた記念式典では、感謝と喜びに満ちた村長の式辞のあと、村づくりに献身された遠藤清作をはじめ、村議会議員など村



成人式で祝辞を述べる大和田議長

の発展に尽力された人や村の産業、文化開発に功績のあった人に感謝状と記念品が贈られた。

また、当日は記念式典のほか、村長と自衛隊音楽隊を先頭に村内小・中学生による旗行列、自衛隊音楽隊による演奏会、行政区対抗野球・相撲大会、しろうとのど自慢大会なども行われ、村をあげてのお祝いは、忠類村始まって以来のにぎやかさで、夜中まで続けられた。

# 第4期議会

定数12人

[昭和36年9月] → [昭和40年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第四期村議会議員選挙は、十四人が立候補し、昭和三十六年八月二十七日に投票が行われ、次の十二人が当選した。

### ■議員名簿

遠藤 清作（一期・商業・幸町）  
古住 基（四期・農業・東宝）  
蛭原 重一（二期・家畜商・白銀町）  
鈴木 壽彌（二期・農業・古里）  
松田 繁雄（三期・会社社長・栄町）  
飯田千代二（二期・会社員・幸町）  
小原 芳夫（二期・農業・日和）  
真鍋七三吉（四期・農業・西忠類）  
大坂善次郎（一期・樹苗業・元忠類）  
宮入 敏（二期・農業・西当）  
常丸 吉雄（一期・農業・上当）  
大和田貞雄（四期・農業・中当）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、昭和三十六年九月の第三回臨時会において、正副議長の選挙が行われ、議長に大和田貞雄議員、副議長に古住基議員がそれぞれ当選した。

議長 大和田貞雄      副議長 古住 基

### ■常任委員会（委員長、○副委員長を示す）

昭和三十六年九月の第三回臨時会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

総務常任委員会（定数六人）

松田 繁雄 ○遠藤 清作

委員 宮入 敏、飯田千代二、

大坂善次郎、大和田貞雄

産業常任委員会（定数六人）

蛭原 重一 ○小原 芳夫

委員 鈴木 壽彌、真鍋七五三吉、

常丸 吉雄、古住 基

## 一般質問・意見書・決議

昭和三十九年五月 第三回臨時会

決議

・交通安全宣言に関する決議

# トピックス

## 「議会事務局」を設置

昭和37年4月の第2回臨時会において「忠類村議会事務局設置条例の制定について」を原案のとおり可決した。

この条例は、「地方自治法第138条第2項の規定により、忠類村議会に事務局を置く。」というもので、昭和37年5月1日から施行された。

地方自治法第138条では、第2項で



当時の議会風景

「市町村の議会に条例で定めるところにより、事務局を置くことができる。」第3項で「事務局に事務局長、書記その他の職員を置く。」第5項で「事務局長、書記長、書記その他の職員は、議長がこれを任免する。」となっている。

初代の事務局長には、同年9月1日に池守清吉が発令された。

## 「交通安全宣言に関する決議」を議決

昭和39年5月の第3回臨時会において、「交通安全宣言に関する決議」を可決した。

この決議は、「近時、道路交通の発展伸張に伴い交通事故は年々激増の一途をたどり、いまや北海道民は日夜交通事故の恐怖にさらされ、誠に憂慮すべき事態に立ち至っている。この時にあたり我々忠類村民は認識を新たにして、交通道德



交通安全教室

の高揚と交通事故の絶滅を決意し、明るく平和な郷土忠類村の実現を期することを宣言する。」という内容であった。

なお、当時の村内の自動車の普及台数は、普通トラックが22台、小型トラックが43台、小型乗用車が14台、特殊車両が17台、自動二輪車が1台、軽貨物自動車が16台、軽乗用車が3台、軽二輪車が50台の計166台であった。



# 第5期議会

定数12人

[昭和40年9月] → [昭和44年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第五期村議会議員選挙は、十六人が立候補し、昭和四十年八月十二日に投票が行われ、次の十二人が当選した。

### ■議員名簿

高橋 栄（一期・農業・中当）  
小原 吉雄（三期・農業・日和）  
木幡 勝雄（一期・農業・元忠類）  
蛭原 重一（三期・家畜商・白銀町）  
松田 繁雄（四期・木材業・栄町）  
鈴木 壽彌（三期・農業・古里）  
紺野 重儀（一期・農業・元当）  
大坂善次郎（二期・林業・錦町）  
飯田千代二（三期・会社員・幸町）  
古住 基（五期・農業・東宝）  
真鍋七三吉（五期・農業・西忠類）  
蛭原 秀衛（三期・農業・明和）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、昭和四十年九月の第七回定例会において、正副議長の選挙が行われ、議長に古住基議員、副議長に蛭原重一議員がそれぞれ当選した。

議長 古住 基 副議長 蛭原 重一

### ■常任委員会（委員長、副委員長を示す）

昭和四十年九月の第七回定例会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

総務常任委員会（定数六人）

松田 繁雄 ○大坂善次郎 委員 鈴木 壽彌、飯田千代二、

木幡 勝雄、古住 基

産業常任委員会（定数六人）

小原 吉雄 ○真鍋七五三吉 委員 高橋 栄、蛭原 秀衛、

蛭原 重一、紺野 重儀

## 一般質問・意見書・決議

昭和四十一年三月 第二回定例会

### 一般質問

- ・大坂善次郎（村債の返済見通しについて他五件）
- ・松田 繁雄（農家の負債と今後の経営について他三件）
- ・鈴木 壽彌（市街地振興計画について他六件）
- ・蛭原 秀衛（保健婦の養成について他二件）
- ・小原 吉雄（酪農振興を進める中での畑作振興策について他五件）
- ・真鍋七五三吉（朝日地区土地改良事業の概要について他一件）

昭和四十二年三月 第二回定例会

### 一般質問

- ・高橋 栄（道営パイロット事業について他一件）
- ・木幡 勝雄（学校統合について他五件）
- ・飯田千代二（歯科医の誘致及び医師の離村について他五件）
- ・蛭原 重一（構造改善事業について他二件）
- ・蛭原 秀衛（教員の適正配置について他三件）
- ・松田 繁雄（被害農家の利子補給について他五件）
- ・鈴木 壽彌（村民憲章の制定について他五件）
- ・小原 吉雄（学校給食の問題について他九件）
- ・真鍋七五三吉（交通網の確保について他一件）

・大坂善次郎（名誉村民条例の制定について他四件）

昭和四十二年十二月 第七回定例会

### 一般質問

・鈴木 壽彌（冬期除雪計画について）

昭和四十三年三月 第二回定例会

### 一般質問

- ・高橋 栄（離農者対策について他一件）
- ・飯田千代二（堆肥増産について他五件）
- ・蛭原 秀衛（人口流出対策と編入問題について他二件）
- ・木幡 勝雄（墓苑計画について他五件）
- ・小原 吉雄（酪農家に対する資金対策について他五件）
- ・鈴木 壽彌（ビート工場の誘致について他五件）
- ・松田 繁雄（スキー場の活用について他三件）
- ・大坂善次郎（水不足地帯に対する対策について他四件）

昭和四十三年六月 第三回定例会

### 一般質問

- ・松田 繁雄（境界変更の実現について）
- ・蛭原 秀衛（生花・晩成の編入について）
- ・小原 吉雄（後継者育成に係る農業学園について）
- ・鈴木 壽彌（村政執行にあたっての抱負について）
- ・蛭原 重一（事業団牛の導入について）

昭和四十三年九月 第五回定例会

### 一般質問

- ・松田 繁雄（「村民の声を聞く箱」の設置について他四件）
- ・小原 吉雄（新生活推進運動について他五件）



- ・ 蛸原 秀衛（十八線道路の実現について他二件）

昭和四十三年十二月 第七回定例会

一般質問

- ・ 松田 繁雄（市街の防火施設について他五件）
- ・ 蛸原 秀衛（離農跡地の斡旋について）
- ・ 鈴木 壽彌（隔離病舎の利用法について他二件）

昭和四十四年三月 第二回定例会

一般質問

- ・ 松田 繁雄（経費の削減について他三件）
- ・ 高橋 栄（麦作推進事業について他二件）
- ・ 木幡 勝雄（観光問題について他四件）
- ・ 蛸原 秀衛（家庭教育と社会教育の充実にについて他四件）
- ・ 大坂善次郎（特殊学級の開設について他四件）
- ・ 鈴木 壽彌（勤労者の福祉対策について他七件）

昭和四十四年六月 第三回定例会

一般質問

- ・ 松田 繁雄（消防後援会について他三件）
- ・ 鈴木 壽彌（教育委員会の事務所について他一件）

# トピックス

当時の市街地



## 「忠類村議会議員会」を設立

昭和40年9月30日に開催した議員協議会において、「忠類村議会議員会」を設立することを決定した。

議員会は、議員相互の資質の向上と親睦融和を図るとともに、村政一般に関し調査研究を行い、民主的地方自治行政の発展に寄与する目的をもって設立するもので、会長に真鍋七五三吉、副会長に大坂善次郎、幹事に鈴木壽彌、蛇原秀衛を選出した。

議員会の事業は、会則第3条により「村議会の運営に関する調査研究」「町村自治の振興発展に関する調査研究」「会員相互の親睦に資する事項」「その他目的達成に必要な事項」となっており、合わせて「慶弔内規」も制定した。



盆踊りに参加する議員会一同

## 「忠類村開拓功績者 年金支給条例」を議決

昭和41年3月の第2回定例会において「忠類村開拓功績者年金支給条例の制定について」を原案のとおり可決した。

この条例は、忠類村の開拓に功績のあった者に対し年金を支給し、もって老後の福祉の向上を促進することを目的としており、年齢75才をこえ、かつ、本村に引き続き50年以上在住している者を対象に、年額18,000円

を年4回に分けて支給するとなっている。支給開始の昭和41年度には、6名に総額108,000円が支給され、門崎村長が該当者宅を訪問して交付した。

なお、昭和46年度からは、在住50年に満たない人にも「敬老年金条例」により、年額5,000円が支給されることになった。



忠類発祥の地丸山南麓



# 第6期議会

定数12人

[昭和44年9月] → [昭和48年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第六期村議会議員選挙は、十三人が立候補し、昭和四十四年八月三十一日に投票が行われ、次の十二人が当選した。

### ■議員名簿

- 木幡 勝雄（二期・農業・元忠類）
  - 松田 繁雄（五期・木材業・栄町）
  - 古住 基（六期・農業・東宝）
  - 小原 吉雄（四期・農業・日和）
  - 鈴木 壽彌（四期・農業及び商業・古里）
  - 大坂善次郎（三期・林業・錦町）
  - 蛭原 重一（四期・家畜商・白銀町）
  - 長嶺 三男（一期・農業・協徳）
  - 浦上 春男（二期・製材会社社長・幸町）
  - 杉坂常太郎（二期・農業・西忠類）
  - 森 正（二期・林業・幸町）
  - 堀部長治郎（一期・農業・古里）
- \* 松田繁雄議員の退職（昭和四十七年四月）に伴う忠類村議会議員補欠選挙が昭和四十七年五月二十八日に行われ、次の者が当選した。
- 二川 富七（二期・農業・元忠類）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、昭和四十四年九月の第六回定例会において、正副議長の選挙が行われ、議長に古住基議員、副議長に松田繁雄議員がそれぞれ当選した。

議長 古住 基 副議長 松田 繁雄

\* 松田繁雄副議長の議員退職に伴う副議長の選挙が、昭和四十七年五月の第三回臨時会において行われ、副議長に蛭原重一議員が当選した。

副議長 蛭原 重一

■常任委員会（委員長、○副委員長を示す）

昭和四十四年九月の第六回定例会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

総務常任委員会（定数六人）

蛭原 重一 ○鈴木 壽彌 委員 大坂善次郎、森 正、

杉坂常太郎、古住 基

産業常任委員会（定数六人）

小原 吉雄 ○木幡 勝雄 委員 長嶺 三男、堀部長治郎、

浦上 春男、松田 繁雄

## 一般質問・意見書・決議

昭和四十四年九月 第六回定例会

一般質問

・鈴木 壽彌（保健婦について）

・松田 繁雄（プールの建設について他三件）

・蛭原 重一（体育館の設置計画について他五件）

・大坂善次郎（なめこの栽培奨励について他五件）

・木幡 勝雄（中学校の防音装置について他一件）

・小原 吉雄（村道路状況の冬期間の対策について他三件）

・浦上 春男（過疎対策に係る宅地造成について）

意見書

・青函トンネルの本工事着手促進に関する要望意見書

決議

・表彰に関する決議

昭和四十四年十二月 第八回定例会

一般質問

・蛭原 重一（固定資産評価審査委員について他一件）

・浦上 春男（中当縁中学校と忠類中学校の統合問題について）

・大坂善次郎（財産処分について他一件）

・松田 繁雄（広域行政に係る隔離病舎について他四件）

・小原 吉雄（農業後継者の育成について他二件）

・長嶺 三男（集乳路線の除雪について）

・鈴木 壽彌（肉牛の導入について他一件）

昭和四十五年三月 第二回定例会

一般質問

・鈴木 壽彌（農村電話の設置について他七件）

・森 正（青少年広場の活用PRについて他二件）

・浦上 春男（過疎対策について他三件）

・堀部長治郎（人口減の防止対策について他九件）

・長嶺 三男（てん菜酪農推進事業について他九件）

・松田 繁雄（上水道の問題について他十一件）

・大坂善次郎（食品衛生の問題について他四件）

・杉坂常太郎（休耕地の問題について他一件）

・小原 吉雄（村道の拡充整備について他二件）

・蛭原 重一（公共用地について他一件）

昭和四十五年六月 第三回定例会

一般質問

・小原 吉雄（農村集団電話について他四件）

・蛭原 重一（消防の車両について他三件）

・鈴木 壽彌（マイクロバスの導入について他二件）

昭和四十五年九月 第五回定例会

一般質問

・蛭原 重一（体育館駐車場について他一件）

・松田 繁雄（村歌制定について他四件）

・浦上 春男（老人福祉について他二件）



- ・長嶺 三男（ナウマン象化石骨発掘跡地について他一件）
- ・大坂善次郎（上下水道に係るアンケートについて他一件）
- ・鈴木 壽彌（交通安全教育について他二件）

#### 意見書

- ・北海道・東北新幹線の最優先着工に関する意見書

#### 決議

- ・医療保険制度の改革に関する決議

昭和四十五年十二月 第六回定例会

#### 一般質問

- ・蛭原 重一（水道施設について）
- ・松田 繁雄（新穀感謝祭について他五件）
- ・小原 吉雄（離農跡地の保有合理化法人について）
- ・鈴木 壽彌（除雪路線について他三件）

昭和四十六年三月 第二回定例会

#### 一般質問

- ・松田 繁雄（監査委員の増員について他十一件）
- ・森 正（村有地の取得について他二件）
- ・大坂善次郎（体育館の周辺整備について他四件）
- ・堀部長治郎（無水農家対策について他五件）
- ・浦上 春男（公衆便所の管理について他三件）
- ・蛭原 重一（学校統合によるバス路線について）
- ・鈴木 壽彌（第二次農業構造改善事業実施について他二件）

昭和四十六年六月 第三回定例会

#### 一般質問

- ・小原 吉雄（青少年教育について）
- ・堀部長治郎（明和地区の営農用水事業について）
- ・鈴木 壽彌（降雨による開拓農道の被害状況について）
- ・大坂善次郎（公共用地の取得について）
- ・長嶺 三男（飼料不足農家への対応について他一件）

- ・松田 繁雄（物価高騰について他七件）

昭和四十六年九月 第四回定例会

#### 一般質問

- ・蛭原 重一（四十六年度事業の執行状況について他三件）
- ・森 正（工事の関係について）
- ・長嶺 三男（冷害救済事業による酪農道路について）
- ・鈴木 壽彌（大樹・忠類衛生施設組合について）
- ・小原 吉雄（事業執行の優先順位について他一件）

昭和四十六年十二月 第五回定例会

#### 一般質問

- ・堀部長治郎（バス停留所について他三件）
- ・鈴木 壽彌（農業労務者の確保について他二件）
- ・蛭原 重一（スキー場の管理運営について他一件）
- ・松田 繁雄（職員の出張について他四件）

昭和四十七年三月 第二回定例会

#### 決議

- ・北方領土日本復帰促進決議

昭和四十七年六月 第四回定例会

#### 一般質問

- ・鈴木 壽彌（起債について他一件）
- ・大坂善次郎（プールの工事について）

昭和四十七年九月 第六回定例会

#### 一般質問

- ・小原 吉雄（酪農の大型化に伴う道路整備等について）
- ・蛭原 重一（統合校舎について他四件）
- ・浦上 春男（十一線道路について）
- ・長嶺 三男（酪農家の乾草施設の状況について他一件）
- ・大坂善次郎（簡易水道の水源地について他一件）
- ・杉坂常太郎（国・道の施策にのれない者を救う対策について）

## 昭和四十七年十二月 第八回定例会

### 一般質問

- ・鈴木 壽彌（国営パイロット事業の実施状況について他二件）
- ・小原 吉雄（農地保有合理化法人の設置について他一件）
- ・浦上 春男（村直営事業の従事者賃金等について）
- ・蛸原 重一（農業委員会の交換分合について他二件）
- ・長嶺 三男（学校統合に伴うスクールバス待合所の改善について）

## 昭和四十八年三月 第二回定例会

### 一般質問

- ・木幡 勝雄（福祉会館の設置について他八件）
- ・森 正（村内業者の育成について他一件）
- ・浦上 春男（牡とく事業の進展状況について他四件）
- ・長嶺 三男（災害被災の問題について他八件）
- ・堀部長治郎（太平洋沿岸臨海工業について他四件）
- ・鈴木 壽彌（第二次農業基本構想について他十件）
- ・杉坂常太郎（白銀公園の造成規模について他三件）
- ・蛸原 重一（過疎対策と零細業者の指導育成について他四件）
- ・二川 富七（結婚相談所について）

### 決議

- ・釧路地方事務局大樹出張所存置要請決議

## 昭和四十八年六月 第四回定例会

### 一般質問

- ・鈴木 壽彌（保育所の通園補助について他三件）
- ・蛸原 重一（工事等の入札及び発注状況について他二件）
- ・小原 吉雄（牧場の入牧頭数について他二件）
- ・杉坂常太郎（消火栓について）
- ・浦上 春男（ヘルパーについて）

# トピックス

## 開村20周年記念式典で 「決意表明」

開村20周年記念を祝う式典が、昭和44年10月20日に開催され、午前9時から行われた「祝賀パレード」に引き続き、午前10時から忠類小学校体育館で「開村20周年記念式典」が行われ、新しく制定された「忠類村民憲章」が発表された。

この式典の中で、古住議長が議会を代



開村20周年記念誌

表して「昭和24年8月20日、地域住民多年の念願が実を結び忠類村が誕生、村民一丸となって村づくりを推し進めてきた。本日ここに開村の初心にかえり、明るく、豊かな、そして住みよい楽土の建設をめざし、更に一層の努力を傾注することを全村民とともに決意する。（要約）」との決意表明を述べた。

## 議員定数を10人に削減

昭和48年3月の第2回定例会において「忠類村議会議員の定数を減少する条例の改正について」を原案のとおり可決した。

「12人」を「10人」に「2人」を削減するもので、次の一般選挙から適用することとなった。

定数削減のきっかけは、昭和47年秋に地区ごとに開催された行政懇談会で、一



行政懇談会の様子

部地域から議員定数を削減してはとの要望があり、議員協議会で協議をしてきたもので、議員提案により全会一致で可決した。これに対し、「住民の行政への関心が高まっているのにわずか10人で民意が反映できるのか。経費の削減なら定員を削らなくても方法はあるはず」との批判の声もあった。

議員定数10人は、道内では本村が初のケースで「全道一のミニ議会」となった。



# 第7期議会

定数10人

[昭和48年9月] → [昭和52年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第七期村議会議員選挙は、十二人が立候補し、昭和四十八年九月二日に投票が行われ、次の十人が当選した。

### ■議員名簿

増田 武夫（一期・団体職員・栄町）  
松田 繁雄（六期・会社役員・栄町）  
藤谷 清（一期・商業・本町）  
木幡 勝雄（三期・農業・元忠類）  
古住 基（七期・農業・東宝）  
鈴木 壽彌（五期・農業・古里）  
杉坂常太郎（二期・農業・西忠類）  
西川 辰雄（一期・農業・元当）  
小原 吉雄（五期・農業・日和）  
浦上 春男（二期・家畜商・幸町）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、昭和四十八年九月の第六回定例会において、正副議長の選挙が行われ、議長に古住基議員、副議長に小原吉雄議員がそれぞれ当選した。

議長 古住 基 副議長 小原 吉雄

### ■常任委員会（委員長、副委員長を示す）

昭和四十八年九月の第六回定例会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

### 総務常任委員会（定数五人）

鈴木 壽彌。浦上 春男 委員 藤谷 清 増田 武夫、  
古住 基

産業常任委員会（定数五人）

木幡 勝雄 ○杉坂常太郎 委員 松田 繁雄、西川 辰雄、  
小原 吉雄

一般質問・意見書・決議

昭和四十八年九月 第六回定例会

一般質問

- ・木幡 勝雄（水道の運営について他一件）
  - ・浦上 春男（スキー場の運営について他三件）
  - ・増田 武夫（生活環境の整備について他五件）
  - ・藤谷 清（福祉会館建設について他三件）
  - ・鈴木 壽彌（重要案件を議会と協力して進めることについて）
  - ・松田 繁雄（失業保険について他五件）
  - ・杉坂常太郎（村貸付牛の制度について）
- 決議
- ・畜産物価格引上げ等に関する要請決議

昭和四十八年十二月 第八回定例会

一般質問

- ・小原 吉雄（行政区の再編成について）
  - ・藤谷 清（村道の側溝について他三件）
  - ・松田 繁雄（土地開発公社の運営について他七件）
  - ・増田 武夫（石油危機対策について他二件）
  - ・西川 辰雄（住民意向調査の実施について他三件）
- 意見書
- ・農業再生産用軽油確保の要望意見書

昭和四十九年三月 第二回定例会

一般質問

- ・松田 繁雄（商工業者の育成について他九件）
  - ・木幡 勝雄（助産費の補助金について他二件）
  - ・西川 辰雄（財政状況について他八件）
  - ・浦上 春男（老人福祉について他五件）
  - ・鈴木 壽彌（民有林の振興について他十件）
  - ・増田 武夫（地方自治体の役割について他十一件）
  - ・藤谷 清（過疎対策について他十一件）
  - ・小原 吉雄（構造改善事業について他一件）
  - ・杉坂常太郎（朝日地区の営農用水について他二件）
- 意見書
- ・失業保険法改正反対に関する意見書

昭和四十九年六月 第四回定例会

一般質問

- ・松田 繁雄（勸奨退職制度の採用について他七件）
- ・増田 武夫（保育所の通園手段について他四件）
- ・藤谷 清（総合グラウンドについて）
- ・鈴木 壽彌（職員のネーム着用について他一件）

昭和四十九年九月 第六回定例会

一般質問

- ・木幡 勝雄（村牧の運営について）
- ・西川 辰雄（今年の作況状況と畑作及び酪農対策について）
- ・増田 武夫（交通安全対策について他七件）
- ・鈴木 壽彌（ナウマン太鼓の郷土芸能指定について）
- ・藤谷 清（コミュニティセンター建設について）

決議

- ・白鳥事件の公正な再審開始に関する要望決議
- ・肉牛生産農家の経営を守る緊急対策に関する要望決議

昭和四十九年十二月 第九回定例会

一般質問

- ・鈴木 壽彌（議会議務局の強化について他三件）
- ・増田 武夫（地方財政危機打開の方策について他四件）
- ・藤谷 清（地元産業開発の具体策について他四件）
- ・西川 辰雄（農政について他二件）
- ・松田 繁雄（忠類墓園の街灯について他四件）
- ・小原 吉雄（消防車の車庫の位置問題について他一件）

昭和五十年三月 第二回定例会

一般質問

- ・木幡 勝雄（人件費の抑制策について他二件）
  - ・杉坂常太郎（優良牝牛の貸付方法について他三件）
  - ・浦上 春男（海外研修について他三件）
  - ・藤谷 清（社会教育について他五件）
  - ・西川 辰雄（農業後継者対策について他六件）
  - ・増田 武夫（婦人の健康と福祉の向上について他四件）
  - ・鈴木 壽彌（帯広畜大の研究施設の誘致について他七件）
- 決議
- ・農畜産物価格引上げ等に関する要請決議
  - ・失業の防止と失業者の生活保障に関する要請決議

昭和五十年六月 第四回定例会

一般質問

- ・西川 辰雄（異常災害に伴う今後の対策について他一件）

- ・鈴木 壽彌（村づくり協議会の設置について他一件）
  - ・増田 武夫（道路改良工事の計画等について他三件）
- 意見書

- ・五十年産麦の政府買入価格引上げ等麦生産振興に関する要望意見書
- ・甜菜の生産振興を図るための砂糖の価格安定等に関する法律・甘味資源特別措置法の一部改正促進に関する要望意見書

決議

- ・粗飼料を確保し酪農家の経営を守るための緊急対策に関する要望決議

昭和五十年九月 第五回定例会

一般質問

- ・鈴木 壽彌（上尾市、信濃町との交流について他一件）
- ・藤谷 清（ナウマン象の骨格復元について他三件）
- ・増田 武夫（地方財政確立と人事院勧告の完全実施について他三件）
- ・小原 吉雄（へい死家畜の処理施設への運搬の村費負担について）

昭和五十年十二月 第六回定例会

一般質問

- ・松田 繁雄（殉公者の慰霊祭典について他五件）
- ・西川 辰雄（私道整備事業の今後について他五件）
- ・藤谷 清（村民参加による労働行政について他二件）
- ・増田 武夫（北電の電柱占用料について他三件）
- ・鈴木 壽彌（道立自然の家の誘致促進対策について他三件）

昭和五十一年一月 第一回臨時会

決議

- ・雇用保険法による季節労働者等の失業給付に関する決議

昭和五十一年三月 第二回定例会

一般質問

- ・木幡 勝雄（経費の節減について他一件）
- ・西川 辰雄（機構改革と事務改善について九件）
- ・鈴木 壽彌（保健婦の確保対策について他六件）
- ・藤谷 清（財政硬直化の対策について他五件）
- ・松田 繁雄（村政の一大改革について他七件）
- ・杉坂常太郎（朝日地区の営農用水について他一件）
- ・増田 武夫（村民の生活安定の方策について他三件）

意見書

- ・昭和五十一年度加工原料乳保証価格等畜産物価格値上げに関する要望  
意見書

昭和五十一年四月 第三回臨時会

決議

- ・石炭政策補強ならびに幌内炭鉱再検討に関する要望決議

昭和五十一年六月 第四回定例会

一般質問

- ・鈴木 壽彌（社会福祉協議会の充実の方策について他二件）
- ・藤谷 清（コミュニティセンターの管理運営について他一件）
- ・松田 繁雄（財政の健全と住民サービスの両立について他三件）
- ・増田 武夫（福祉政策について他三件）
- ・杉坂常太郎（乳牛の改良について他一件）

昭和五十一年九月 第七回定例会

一般質問

- ・松田 繁雄（週休二日制の実施について他八件）

- ・増田 武夫（学童保育所の設置について他三件）
- ・藤谷 清（環境整備計画について他二件）
- ・鈴木 壽彌（資料室の充実について他一件）

決議

- ・北方領土復帰促進に関する再決議

昭和五十一年十二月 第九回定例会

一般質問

- ・藤谷 清（コミセンの利用状況について他四件）
- ・増田 武夫（子供の遊び場の設置について他四件）
- ・西川 辰雄（今後の農業施策について他三件）
- ・松田 繁雄（旧歯科診療所の利活用について他七件）
- ・鈴木 壽彌（商工業者の金融状況について他三件）

昭和五十二年三月 第二回定例会

一般質問

- ・西川 辰雄（行財政について他二件）
  - ・藤谷 清（教育施設の充実について他七件）
  - ・杉坂常太郎（構造改善事業等による村営牧場の増設について）
  - ・増田 武夫（「北海道発展計画素案」に対する対応について他二件）
  - ・鈴木 壽彌（行政懇談会のあり方について他八件）
  - ・松田 繁雄（芸能文化の振興について他六件）
- 意見書
- ・昭和五十二年度加工原料乳保証価格等畜産物価格引上げに関する要望  
意見書

決議

- ・忠類村職員の勧奨退職等に関する要望決議



昭和五十二年六月 第五回定例会

一般質問

- ・杉坂常太郎（農薬公害防止対策の現況と今後の考え方について他一件）
  - ・松田 繁雄（地方自治のあり方について他二件）
  - ・藤谷 清（商工業者に対する村融資の増額充実にについて他二件）
  - ・鈴木 壽彌（郷土芸能の指定について他三件）
  - ・増田 武夫（就学援助制度充実にについて他三件）
- 決議
- ・北方領土の早期返還に関する決議

# トピックス

旧役場庁舎



## 「議会だより」を創刊

昭和49年5月に「議会だより」第1号を発刊した。創刊号は、B4判の38頁で構成されており、昭和49年3月の第2回定例会の「村政執行方針」「教育行政執行方針」「一般質問」を中心に編集した。

それまでは、昭和31年4月に創刊された「広報ちゅうい」の中で、議会の状況を知らせてきたが、昭和48年5月号で、議会の特集を載せた

ことが好評であったことから、「議会だより」を発行することになった。

当初は、広報委員2人で年1回の発行だったが、昭和52年からは広報委員を4人に増員、昭和57年からは発行回数も年4回とし、各定例会の内容を中心とした編集となった。



村政執行方針を述べる白木村長

## 「忠類村開村記念日に関する条例」を議決

昭和49年6月の第4回定例会において「忠類村開村記念日に関する条例の制定について」を原案のとおり可決した。

この条例は、忠類村の開村時をしのび、開拓先人の偉業に感謝を捧げるとともに、愛村の精神をかん養し、村民協力して忠類村の発展を期するため制定したもので、開村記念日は、8月20日とし、この日には、忠類村

表彰条例に基づく表彰、その他適切な行事を行うとしている。

同年8月20日には、初めての開村記念式典が「開村25周年記念」として白銀台ロッジで行われ、開拓先駆者の霊に村長が献花、全員黙とうを捧げ、村長、議長式辞のあと、忠類村表彰条例に基づく表彰が行われた。



初めての開村記念式典



# 第 8 期議会

定数10人

[昭和52年9月] → [昭和56年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第八期村議会議員選挙は、十一人が立候補し、昭和五十二年八月二十八日に投票が行われ、次の十人が当選した。

### ■議員名簿

松田 繁雄（七期・会社役員・栄町）  
藤谷 清（二期・商業・本町）  
杉坂常太郎（三期・農業・西忠類）  
木幡 勝雄（四期・農業・元忠類）  
小原 吉雄（六期・農業・日和）  
蛸原 重一（五期・農業・白銀町）  
古住 基（八期・農業・東宝）  
鈴木 壽彌（六期・農業・古里）  
西川 辰雄（二期・農業・上当）  
増田 武夫（二期・団体職員・錦町）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、昭和五十二年九月の第六回定例会において、正副議長の選挙が行われ、議長に古住基議員、副議長に西川辰雄議員がそれぞれ当選した。

議長 古住 基 副議長 西川 辰雄

### ■常任委員会（委員長、副委員長を示す）

昭和五十二年九月の第六回定例会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

### 総務常任委員会（定数五人）

鈴木 壽彌。松田 繁雄 委員 杉坂常太郎、蛸原 重一、古住 基

産業常任委員会（定数五人）

木幡 勝雄 ○藤谷 清 委員 小原 吉雄、増田 武夫、  
西川 辰雄

一般質問・意見書・決議

昭和五十三年九月 第六回定例会

一般質問

- ・藤谷 清（金融機関の誘致について他一件）
  - ・増田 武夫（通学路の安全確保について他四件）
- 決議

- ・国鉄忠類駅の貨物取扱廃止反対に関する決議

昭和五十二年十二月 第七回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（学校校舎の改築等について他六件）
- ・西川 辰雄（教育振興の長期計画について他二件）
- ・藤谷 清（村内道路標識の設置について他二件）
- ・鈴木 壽彌（企業誘致と地場産業の開発について他五件）

昭和五十三年三月 第二回定例会

一般質問

- ・杉坂常太郎（中学校校舎の改築計画について他一件）
- ・松田 繁雄（事務改善の実施時期について他八件）
- ・蛭原 重一（歯科診療所の運営について他二件）
- ・西川 辰雄（特殊学級の開設とその対応について他二件）
- ・鈴木 壽彌（生花・晩成地域の境界変更について他五件）
- ・藤谷 清（少年自然の村建設について他三件）
- ・増田 武夫（収入役制度の廃止について他五件）

決議

- ・大樹営林署の存置に関する要望決議

昭和五十三年六月 第四回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（学童保育所の設置について）
- ・鈴木 壽彌（市街地の駐車場整備計画について）
- ・藤谷 清（職員研修について）

昭和五十三年九月 第八回定例会

一般質問

- ・鈴木 壽彌（ゴミ捨場の管理について他二件）
  - ・増田 武夫（忠類村総合計画について他一件）
  - ・藤谷 清（小学校付近の交通危険箇所への対策について他二件）
- 意見書

- ・千歳空港の国際化促進に関する意見書

昭和五十三年十二月 第十回定例会

一般質問

- ・鈴木 壽彌（行政懇談会の開催について他二件）

昭和五十四年三月 第二回定例会

一般質問

- ・西川 辰雄（農業振興について他二件）
- ・杉坂常太郎（自給飼料生産向上対策事業の早期着工について他二件）
- ・蛭原 重一（市街地の会館建設について他三件）
- ・松田 繁雄（水道料金の見直しについて他九件）
- ・藤谷 清（お年寄りの福祉対策について他二件）
- ・鈴木 壽彌（馬の生産奨励について他十件）



- ・増田 武夫（総合計画と村づくりについて）

#### 昭和五十四年六月 第五回定例会

##### 一般質問

- ・増田 武夫（子供の遊び場の整備について）
- ・松田 繁雄（省エネルギー対策について他二件）

#### 昭和五十四年九月 第八回定例会

##### 一般質問

- ・藤谷 清（統一選挙における無効投票について）
- ・鈴木 壽彌（高齢者福祉対策の充実について他一件）

#### 昭和五十四年十二月 第十回定例会

##### 一般質問

- ・鈴木 壽彌（中当地区幹線排水の改修について他一件）
- ・西川 辰雄（みなおし運動について他一件）
- ・藤谷 清（五十五年度予算編成に対する基本的な考え方について）

##### 意見書

- ・過疎地域振興特別措置の強化充実に関する要望意見書
- ・酪農民の営農と生活の安定に関する要望意見書

#### 昭和五十五年三月 第一回定例会

##### 一般質問

- ・松田 繁雄（高校通学者に対する交通費助成について他五件）
- ・藤谷 清（住民サービスの強化について他二件）
- ・増田 武夫（余り乳問題と今後の酪農経営政策について他二件）
- ・鈴木 壽彌（環境美化運動の奨励について他七件）
- ・蛸原 重一（歯科診療所の運営について他四件）

##### 意見書

- ・国鉄地方交通線の確保に関する要望意見書

##### 決議

- ・道立新得畜産試験場の機構縮小と北海道酪農検査所帯広支所の廃止に反対する決議

#### 昭和五十五年五月 第二回臨時会

##### 決議

- ・反省決議

#### 昭和五十五年六月 第三回定例会

##### 一般質問

- ・鈴木 壽彌（執行体制の充実について）
- ・増田 武夫（今後の村政に対する姿勢について他一件）

#### 昭和五十五年九月 第六回定例会

##### 一般質問

- ・鈴木 壽彌（現行の議員定数に対する考え方について）
- ・増田 武夫（冷害対策について他一件）

#### 昭和五十五年十二月 第八回定例会

##### 一般質問

- ・西川 辰雄（来年度予算編成に対する基本的な考え方について）
- ・松田 繁雄（林業構造改善事業について他一件）
- ・鈴木 壽彌（職員の給与体制について他一件）
- ・藤谷 清（商工従業員住宅建設の促進について他二件）
- ・増田 武夫（福祉灯油の実現について他二件）

##### 決議

- ・北方領土早期復帰実現に関する決議
- ・季節労働者に関する積寒給付金制度の改革に反対し一時金九十日給付

## 復活を要望する決議

昭和五十六年一月 第一回臨時会

### 意見書

・新常広空港開設時におけるダブルトラック実現に関する要望意見書

昭和五十六年三月 第二回定例会

### 一般質問

- ・木幡 勝雄（過疎医療と救急活動について他二件）
- ・西川 辰雄（農政に対する基本的な考え方について）
- ・杉坂常太郎（土地の売買に係る町村事務の取扱いについて）
- ・増田 武夫（住宅政策の積極的な強化について他四件）
- ・松田 繁雄（コモンド石の研究結果について他八件）
- ・鈴木 壽彌（労働行政の充実について他十一件）

昭和五十六年六月 第四回定例会

### 一般質問

- ・藤谷 清（趣味の家の利用について他二件）
  - ・増田 武夫（勤労者の諸問題について他四件）
  - ・西川 辰雄（今後の行政執行について）
  - ・鈴木 壽彌（村の鳥の制定について）
- ### 意見書
- ・農業の再建、食料自給率向上のための要望意見書
  - ・非核三原則の法制化についての意見書
  - ・郵便貯金の金利一元化反対と資金運用についての意見書
  - ・季節労働者の冬季間の仕事の確保と積寒給付制度の改善に関する意見書

# トピックス

## 「国鉄忠類駅の貨物取扱廃止 反対に関する決議」を議決

昭和52年9月の第6回定例会において、「国鉄忠類駅の貨物取扱廃止反対に関する決議」を可決した。

この決議は、「忠類駅の貨物取扱廃止合理化案が昭和53年度末を以って実施される旨、8月19日付で発表されたが、関係地域住民の日常生活は勿論、産業、経

済等に及ぼす影響はまことに大なるものがある。国鉄当局は何ら関係地域住民の意向を聴取することなく、このように一方的な忠類駅貨物取扱廃止の措置をされようとすることに対し、本村は住民総ぐるみで断乎反対を表明するものであり、これが再検討されるよう、ここに強く要望する。」という内容であった。

## 「忠類村総合計画」を議決

昭和56年3月の第2回定例会において「忠類村総合計画」を原案のとおり可決した。

この総合計画は、忠類村として第2期目の計画であり、第1期目は、昭和47年1月の第1回臨時会において「忠類村総合計画基本構想について」として議決していた。

今回の計画は、本村の地域特性を背景



当時の役場執務風景



忠類駅

に、生活水準の向上、福祉の充実を推し進め、「明るく豊かな酪農の村」を創造するとし、目標年次である昭和65年の人口を2,700人に想定をして、「緑と太陽あふれる健康で文化的な村」「働く喜びと希望に満ちた魅力ある村」「よりよき社会をみざして躍進する創造性豊かな村」の3つの柱を基本目標に村民の英知と力を結集するとなっている。



# 第9期議会

定数10人

[昭和56年9月] → [昭和60年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第九期村議会議員選挙は、昭和五十六年八月二十三日に告示され、次の十人が無投票当選した。

### ■議員名簿

杉坂常太郎（四期・農業・西忠類）  
藤谷 清（三期・商業・本町）  
西川 辰雄（三期・農業・上当）  
木幡 勝雄（五期・農業・元忠類）  
小原 吉雄（七期・農業・西当）  
古住 基（九期・農業・東宝）  
増田 武夫（三期・団体職員・錦町）  
蛭原 重一（六期・農業・白銀町）  
竹原 義雄（一期・無職・錦町）  
松田 繁雄（八期・木材会社代表取締役・栄町）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、昭和五十六年九月の第五回定例会において、正副議長の選挙が行われ、議長に古住基議員、副議長に西川辰雄議員がそれぞれ当選した。

議長 古住 基 副議長 西川 辰雄

### ■常任委員会（委員長、副委員長を示す）

昭和五十六年九月の第五回定例会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

### 総務常任委員会（定数五人）

蛭原 重一。松田 繁雄 委員 杉坂常太郎、竹原 義雄、古住 基

産業常任委員会（定数五人）

藤谷 清 ○木幡 勝雄 委員 小原 吉雄、増田 武夫、  
西川 辰雄

一般質問・意見書・決議

昭和五十六年九月 第五回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（役場職員の給与体系について）
  - ・増田 武夫（防災体制の確立について他二件）
  - ・藤谷 清（今年度の予算執行状況について）
- 意見書
- ・行政改革に関する意見書

昭和五十六年十二月 第六回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（助役の選任及び事務体制の確立について）
  - ・増田 武夫（福祉灯油の実施について他二件）
- 意見書
- ・北海道開発庁及び北海道東北開発公庫の存置に関する要望意見書

昭和五十七年三月 第三回定例会

一般質問

- ・木幡 勝雄（スキー場の環境整備について他一件）
- ・竹原 義雄（本村における行政改革の進め方について他一件）
- ・西川 辰雄（村政執行の基本的な考え方について）
- ・杉坂常太郎（村有林の除間伐について他一件）
- ・蛭原 重一（税の正しいあり方について他二件）
- ・藤谷 清（スキー場を中心とした観光開発について他二件）

- ・増田 武夫（子供をとりまく環境の改善について他二件）
- 意見書

- ・昭和五十七年度加工原料乳保証価格等畜産物政策価格実現に関する要望意見書

- ・雑豆自由化阻止に関する要望意見書

- ・積寒給付金制度の改善、継続と季節労働者の雇用対策に関する意見書

昭和五十七年六月 第五回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（今後における補助事業の考え方について）
  - ・松田 繁雄（地場産業の振興について）
  - ・西川 辰雄（本年の作況と風害、霜害の状況について他一件）
  - ・増田 武夫（簡易水道の水源地の水量について）
  - ・藤谷 清（村道の防じん処理について）
- 意見書
- ・道路整備特定財源の確保に関する要望意見書

昭和五十七年九月 第七回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（新林業構造改善事業の実施について他一件）
  - ・藤谷 清（老人スポーツの推進について）
  - ・増田 武夫（村の防災対策について他一件）
- 意見書

- ・旧軍人、軍属恩給欠格者に対する恩給法等の改善に関する意見書
- ・てん菜、馬鈴しょ、大豆等の価格安定と畑作基本政策の確立についての要望意見書



昭和五十七年十二月 第九回定例会

一般質問

- ・ 竹原 義雄（医師招へいの具体策について他一件）
- ・ 西川 辰雄（五十八年度予算編成の考え方について）
- ・ 増田 武夫（行政改革の対応について）

意見書

- ・ 中小企業事業承継税制の創設に関する要望意見書

昭和五十八年一月 第一回臨時会

意見書

- ・ 国鉄特定地方交通第二次路線の選定凍結を求める要望意見書

昭和五十八年三月 第二回定例会

一般質問

- ・ 松田 繁雄（スパイクタイヤの規制について他一件）
- ・ 木幡 勝雄（ゴミステーションの設置状況について他一件）
- ・ 竹原 義雄（村有地の活用について他一件）
- ・ 増田 武夫（課外活動センターの建設について他二件）

- ・ 藤谷 清（社会福祉協議会の法人化について他三件）
- 意見書

- ・ 昭和五十八年度加工原料乳保証価格等畜産物政策価格実現に関する要望意見書

昭和五十八年六月 第四回定例会

一般質問

- ・ 竹原 義雄（スキー場の芝桜の肥培管理について）
- ・ 藤谷 清（特産品開発研究に対する援助について）
- ・ 増田 武夫（東宝林道工事の発注経過について他一件）

昭和五十八年九月 第六回定例会

一般質問

- ・ 竹原 義雄（救農事業など冷害対策について他一件）
- ・ 藤谷 清（スキー場各施設の管理運営について他一件）
- ・ 増田 武夫（国鉄バスの廃止反対運動について他四件）

意見書

- ・ 低温等異常気象に伴う冷災害に関する要望意見書
- ・ 五十八年産畑作三品等の消流、価格の確保並びに畑作対策に関する要望意見書

- ・ 農畜産物の輸入自由化、枠拡大阻止に関する要望意見書
- ・ 水田利用再編第三期対策における本道への傾斜配分是正と稲作確立に関する要望意見書

- ・ 福祉と農業、道民生活を圧迫する行革阻止に関する要望意見書
- ・ 国鉄の五十九・ニダイヤ改正、貨物削減、地方交通線廃止に関する合理化計画の撤回を求める要望意見書

昭和五十八年十二月 第八回定例会

一般質問

- ・ 竹原 義雄（新林業構造改善事業について他一件）
- ・ 増田 武夫（冬期就労事業の実施について他一件）
- ・ 藤谷 清（文化・スポーツ基金の創設について）

意見書

- ・ 国立病院診療所の充実強化に関する意見書
- ・ 北海道開発局の非常勤職員の雇用確保に関する要望意見書
- ・ 北海道三十万人の建設、季節労働者の雇用対策に関する意見書

昭和五十九年三月 第二回定例会

一般質問

- ・ 松田 繁雄（資料館建設計画について他四件）

- ・竹原 義雄（職員給与の改善について他一件）
- ・増田 武夫（住民参加の村政について他二件）

- ・西川 辰雄（農用地の基盤整備について）

- ・藤谷 清（基金の有効的な運用について他一件）

意見書

- ・昭和五十九年度加工原料乳保証価格等畜産物政策価格実現に関する要望意見書

#### 昭和五十九年四月 第三回臨時会

決議

- ・地方交通線の民営・分割に反対する決議

#### 昭和五十九年六月 第五回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（村長四期目の決意と懸案事項について他一件）

- ・増田 武夫（エキノコックス対策について他一件）

意見書

- ・公共事業、特に道路事業の確保に関する要望意見書
- ・医療保険制度改正案に関する要望意見書

#### 昭和五十九年九月 第六回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（遊休地の有効利用について）

- ・藤谷 清（特産品開発について）

- ・増田 武夫（老人福祉の充実にむけた環境づくりについて）

意見書

- ・地方財政対策に関する要望意見書

- ・非課税貯蓄制度の改悪に反対し、現行非課税制度の擁護に関する要望意見書

- ・国庫補助負担率引き下げによる地方負担転嫁反対に関する要望意見書決議

- ・シートベルト着用推進に関する決議

#### 昭和五十九年十二月 第九回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（白銀台スキー場のリフト新設について他一件）

- ・蛸原 重一（自家用の缶詰工場建設について）

- ・藤谷 清（ゲートボールの普及について他一件）

- ・増田 武夫（政府の補助金削減の影響について他三件）

#### 昭和六十年三月 第一回定例会

一般質問

- ・松田 繁雄（公衆便所の管理について他一件）

- ・蛸原 重一（今後の老人対策について他一件）

- ・増田 武夫（季節労働者対策の充実にについて他一件）

- ・藤谷 清（特色ある教育行政の推進について他二件）

意見書

- ・昭和六十年度加工原料乳保証価格等畜産物政策価格実現に関する要望意見書

- ・季節労働者対策の充実にに関する意見書

#### 昭和六十年六月 第二回定例会

一般質問

- ・杉坂常太郎（ゴルフ場の造成構想について）

- ・松田 繁雄（地場産業の振興と就労機会の拡大について他一件）

- ・増田 武夫（大樹高校の間口増の見通しについて他四件）

- ・藤谷 清（冬期間におけるプールの有効活用について他二件）



・日本農業再建と食料自給率の向上並びに農作物の市場開放反対に関する要望意見書

# トピックス

開村30周年記念事業  
(タイムカプセルを埋設)



## 南十勝町村議会議員 ソフトボール大会

第14回南十勝町村議会議員ソフトボール大会が、昭和58年8月9日、忠類村総合グラウンドを会場に開催された。

大会には、南十勝5カ町村から議員や職員など100名が参加、古住大会長の始球式で試合が始まり、珍プレー続出の中で各チームとも熱戦を展開し、広尾チームが初優勝を飾った。

我が忠類村チームは、準決勝で強豪大樹町チームと対戦、大接戦のすえ惜しくも敗れ、引き続いて行われた3・4位戦でも、力尽きた感じで中札内村チームに大敗し、残念ながら4位となった。

試合終了後、会場を忠類公園に移し、ジンギスカン鍋を囲んで懇親を深めた。



議会議員ソフトボール大会

## 「低温等異常気象に伴う冷災害に 関する要望意見書」を議決

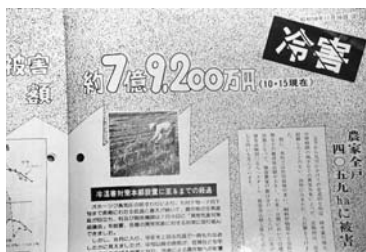
昭和58年9月の第3回定例会において、「低温等異常気象に伴う冷災害に関する要望意見書」を可決し、関係省庁へ送付した。

被害見込み額、7億9,200万円の冷災害による農業経営の窮状打開のため、次の事項の実現を要望した。

- ・天災融資法、激甚災害法の指定を行うこと。
- ・被害農産物の災害規格設定と販売

斡旋、天災資金・自作農資金の貸付限度額引き上げ等の措置を講ずること。

- ・各種制度資金の償還猶予や長期低利資金を創設すること
- ・飼料及び種子の確保を図ること。
- ・諸税の減免措置を大幅に実施すること。



冷害の記事を掲載した広報ちゅうらい



# 第10期議会

定数10人

[昭和60年9月] → [平成元年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第十期村議会議員選挙は、十一人が立候補し、昭和六十年九月一日に投票が行われ、次の十人が当選した。

### ■議員名簿

竹内 政夫（一期・農業・元忠類）  
竹原 義雄（二期・無職・錦町）  
増田 武夫（四期・団体職員・錦町）  
西川 辰雄（四期・農業・上当）  
小原 吉雄（八期・農業・西当）  
杉坂 達男（一期・農業・西忠類）  
古住 基（十期・無職・東宝）  
藤谷 清（四期・商業・本町）  
蛭原 重一（七期・農業・白銀町）  
千葉 勝善（一期・商業・栄町）  
\* 藤谷清議員の退職（昭和六十二年六月）に伴う忠類村議会議員補欠選挙の投票が昭和六十二年七月十九日に行われ、次の者が当選した。  
中村 光夫（一期・食品販売業・錦町）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、昭和六十年九月の第四回臨時会において、正副議長の選挙が行われ、議長に古住基議員、副議長に蛭原重一議員がそれぞれ当選した。

議長 古住 基 副議長 蛭原 重一

\* 蛭原重一副議長の副議長辞職に伴う選挙が、平成元年三月の第一回例会において行われ、副議長に竹原義雄議員が当選した。

副議長 竹原 義雄

■常任委員会（委員長、○副委員長を示す）

昭和六十年九月の第四回臨時会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

総務常任委員会（定数五人）

藤谷 清 ○増田 武夫 委員 千葉 勝善、西川 辰雄、古住 基

産業常任委員会（定数五人）

竹原 義雄 ○小原 吉雄 委員 竹内 政夫、杉坂 達男、蛸原 重一

\*昭和六十二年八月の第三回臨時会において、同年七月十九日執行の補欠選挙により当選した中村光夫議員が総務常任委員に選任された。

\*藤谷清総務常任委員長の議員退職に伴う委員長の選任が、昭和六十二年八月六日開催の委員会で行われ、増田武夫副委員長が委員長に、また、増田武夫副委員長の後任に西川辰雄委員が副委員長にそれぞれ互選された。

総務常任委員長 増田 武夫 同副委員長 西川 辰雄

\*竹原義雄産業常任委員長の副議長就任に伴う産業常任委員長の選任が、

平成元年三月の第一回定例会において行われ、竹内政夫委員が選任された。

産業常任委員長 竹内 政夫

■当縁川水系忠類幌内川河川敷地内立木伐採に関する調査特別委員会（委員長、○副委員長を示す）

平成元年六月の第二回定例会において、当縁川水系忠類幌内川河川敷地内立木伐採に関する調査特別委員会が設置され、委員に次の八人が選任された。また、本会議終了後開催の委員会において、正副委員長が次のとおり互選された。

竹原 義雄 ○竹内 政夫 委員 増田 武夫、西川 辰雄、小原 吉雄、杉坂 達男、千葉 勝善、中村 光夫

## 一般質問・意見書・決議

昭和六十年九月 第三回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（村有遊休地の利用について）
- ・西川 辰雄（財政問題について他一件）
- ・増田 武夫（積寒給付金制度の継続、改善について他三件）
- ・藤谷 清（高齢者対策について他二件）

意見書

- ・農畜産物の市場開放阻止に関する要望意見書
- ・畑作三品の販路と価格引上げに関する要望意見書
- ・農業用生産資材の値下げに関する要望意見書
- ・国保財政の危機打開に関する要望意見書

決議

- ・国保財政の危機打開に関する決議

昭和六十年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（白銀台スキー場の運営管理について他一件）
- ・千葉 勝善（公営住宅の建て替えについて他二件）
- ・杉坂 達男（住民懇談会の充実について他二件）
- ・藤谷 清（冬期間のプールの有効活用について他二件）
- ・増田 武夫（地域子ども会の育成について他二件）

意見書

- ・石炭鉱業の長期安定及び石炭地域の振興に関する要望意見書
- ・季節労働者給付金支給の延長・改善と仕事確保に関する要望意見書
- ・「就学援助への国庫負担の廃止・縮小」に反対する意見書



昭和六十一年三月 第一回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（役場の人事刷新、機構改革等の実施について他一件）
- ・千葉 勝善（村直営の農道路の新設について他二件）
- ・竹内 政夫（野菜集団産地育成について他一件）
- ・蛸原 重一（土地改良による基盤整備について他三件）
- ・藤谷 清（村の活性化について他二件）
- ・杉坂 達男（サケ・マスふ化場の設置について他二件）
- ・増田 武夫（老人医療費一部負担の軽減について他一件）

意見書

- ・ポスト水田利用再編対策に関する要望意見書
- ・農畜産物市場開放阻止に関する要望意見書
- ・加工原料乳保証価格・限度数量引上げ等、酪農・畜産の危機打開に関する要望意見書

昭和六十一年六月 第二回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（国道沿いの村有地の有効利用について他一件）
- ・竹内 政夫（歯科診療所の運営方法について他一件）
- ・増田 武夫（「国庫補助金一括削減法」の本村への影響について）
- ・杉坂 達男（白樺分譲地以降の対策について）
- ・千葉 勝善（中学校周辺の道路整備について他二件）
- ・藤谷 清（村の活性化を図るための取り組みについて）

昭和六十一年九月 第三回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（企画室（課）の設置について他一件）
- ・杉坂 達男（活性化対策の推進について他一件）
- ・千葉 勝善（公共用地取得と公共施設の関連について他一件）

- ・増田 武夫（老人福祉対策の向上について他一件）
- ・藤谷 清（宇宙産業基地に関する独自調査研究について他一件）

意見書

- ・少額貯蓄非課税制度の存続に関する意見書

昭和六十一年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・千葉 勝善（資料館建設に伴う計画の進捗状況について他一件）

意見書

- ・公共事業費の国庫補助負担率の引下げ措置反対に関する意見書
- ・国民健康保険制度に対する都道府県負担の導入反対に関する意見書

昭和六十二年三月 第一回定例会

一般質問

- ・竹内 政夫（村民の健康管理について他二件）
- ・千葉 勝善（村単独・直営の農道整備について他三件）
- ・増田 武夫（老人医療費の負担軽減について他三件）
- ・杉坂 達男（抑制下の農業生産と農政推進の具体策について他三件）
- ・小原 吉雄（花と緑の村づくり運動について）
- ・藤谷 清（スポーツの振興について他二件）

意見書

- ・売上税導入反対に関する要望意見書
- ・雇用、失業対策、季節労働者対策の充実に関する要望意見書
- ・国民の食料を守り、農業再建に関する要望意見書

昭和六十二年八月 第三回臨時会

意見書

- ・帯広畜産大学獣医学科存続並びに帯広畜産大学整備拡充に関する意見書

昭和六十二年九月 第三回定例会

一般質問

- ・杉坂 達男（農業振興の具体策について他二件）
- ・竹原 義雄（村有地の有効活用について他二件）
- ・増田 武夫（河川の環境整備について他一件）
- ・千葉 勝善（住民の健康管理について他二件）
- ・中村 光夫（持家融資制度の実現について他一件）
- ・竹内 政夫（ナウマン象記念館周辺の施設の整備について他一件）

意見書

- ・国内食糧の確保と農畜産物輸入自由化阻止に関する要望意見書

昭和六十二年十月 第五回臨時会

意見書

- ・道路整備特定財源の確保に関する要望意見書

昭和六十二年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（納付書の一括送付について他二件）
- ・竹内 政夫（愛ランドちゅうるいの建設について他三件）
- ・西川 辰雄（市街地整備計画について他三件）
- ・杉坂 達男（養殖事業の検討結果について他三件）
- ・千葉 勝善（体力づくり運動について他一件）
- ・増田 武夫（職員給与の改善について他三件）
- ・中村 光夫（対話と協調の行政の推進について）

意見書

- ・国民健康保険制度に関する要望意見書
- ・義務教育費国庫負担法から学校事務職員、栄養職員の適用除外反対に関する要望意見書

決議

- ・「防犯宣言の村」に関する決議

昭和六十三年三月 第一回定例会

一般質問

- ・中村 光夫（企業誘致について他二件）
- ・竹内 政夫（名誉村民条例の制定について他一件）
- ・杉坂 達男（農業後継者の育成について他二件）
- ・竹原 義雄（役場職員と消防職員の人事交流について他一件）
- ・千葉 勝善（開村四十周年記念事業について他三件）
- ・増田 武夫（国の軍備拡大路線と平和問題について他三件）

意見書

- ・地方議会機能の充実整備等を図る地方自治法改正案の早期成立に関する要望意見書

- ・季節労働者援護制度の存続に関する要望意見書

昭和六十三年六月 第二回定例会

一般質問

- ・千葉 勝善（高規格幹線道路の整備計画について他二件）
- ・中村 光夫（記念館周辺の整備計画について他二件）
- ・竹原 義雄（家畜品評会場の移設について）
- ・竹内 政夫（東三線道路の新設について）
- ・杉坂 達男（防災無線受信機の全戸設置について他一件）
- ・増田 武夫（新大型間接税の導入反対について他二件）

意見書

- ・北方領土問題等の解決促進に関する要望意見書
- ・十勝南部地区農業改良普及所現行体制存続に関する要望意見書

昭和六十三年七月 第三回臨時会

意見書



- ・国庫補助・負担率の引下げ廃止を求める要望意見書
- ・新型間接税の導入反対に関する要望意見書
- ・農畜産物市場開放阻止・生産資材価格引下げ等を求める要望意見書

昭和六十三年九月 第二回定例会

一般質問

- ・西川 辰雄（今後の農業振興対策について）
- ・竹原 義雄（企画室の設置について他二件）
- ・中村 光夫（高齢者就労センターの設置について他一件）
- ・増田 武夫（消費税導入反対の運動について他二件）
- ・竹内 政夫（住宅団地の造成計画について他二件）
- ・杉坂 達男（白銀霊園の整備に伴う旧墓地の取扱について他一件）
- ・千葉 勝善（「ふるさと忠類会」の設立について他二件）

意見書

- ・小学校社会科教科書に森林・林業に関する記述を充実することについて  
の要望意見書

- ・過疎地域振興のための法的措置に関する要望意見書
- ・旧軍人・軍属恩給欠格者救済に関する要望意見書
- ・農畜産物輸入自由化に伴う国内対策及び六十二年畑作三品の販路と価格  
要求に関する要望意見書

昭和六十三年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・竹原 義雄（新年度予算編成の基本的な考え方について）
- ・西川 辰雄（農業振興計画の樹立について他三件）
- ・千葉 勝善（官公庁の土曜閉庁について他一件）
- ・増田 武夫（児童館の建設について他二件）
- ・小原 吉雄（農家の再建対策について他一件）
- ・中村 光夫（分譲地造成の実現について）

意見書

- ・義務教育費国庫負担法一部適用除外に反対する要望意見書
- ・米の市場開放阻止と完全自給政策堅持に関する要望意見書

平成元年三月 第一回定例会

一般質問

- ・竹内 政夫（「一億円」ふるさと創生について他三件）
- ・千葉 勝善（市街地における集会施設の建設について他一件）
- ・増田 武夫（消費税の公共料金への転嫁中止について他二件）
- ・竹原 義雄（機構改革について他一件）
- ・西川 辰雄（健康で明るい村づくりについて他三件）
- ・杉坂 達男（地域特産物の生産振興対策について他二件）
- ・中村 光夫（老人福祉施設の取り組みについて他二件）

意見書

- ・酪農畜産、米の市場開放阻止に関する要望意見書

平成元年六月 第二回定例会

一般質問

- ・千葉 勝善（公営住宅の年次計画について他二件）
- ・中村 光夫（医師の招へいについて）
- ・竹内 政夫（開拓記念碑の建立について）
- ・増田 武夫（家庭用合併浄化槽の導入について他一件）

決議

- ・当縁川水系忠類峯内川河川敷地内立木伐採の調査に関する決議

平成元年八月 第六回臨時会

決議

- ・議員辞職勧告決議

# トピックス

広尾線代替バス運行開始



## 忠類村議会「全国表彰」を受ける

昭和61年2月に忠類村議会が全国町村議会議長会から優秀議会として表彰を受けた。

3月定例会において、忠類村を訪れた、北海道町村議会議長会長の片野三郎清水町議会議長から古住基議長が表彰状の伝達を受けた。

本議会は、分村の昭和24年は16人の議員でスタートしたが、32年には12人、48年からは10人に減員して、少数精鋭で議会活動に取り組んでいた。

表彰状

北海道広尾郡忠類村議会殿  
貴議会は地方自治の本旨にそって議会運営の向上に努めもって住民福祉を増進した功績はまことに顕著であります

よって茲にこれを表彰します

昭和61年2月6日

全国町村議会議長会長

合 田 司 郎



全国表彰受賞記念

## 消費税関連議案12件を否決

平成元年3月の第1回定例会において、提案された「消費税関連議案12件」を否決した。

消費税を上乗せした「忠類村コミュニティセンター条例の改正」や「忠類村白銀台スキー場設置及び管理条例の改正」など消費税関連議案12件は、予算審査特別委員会に付託され、審議の結果、村議会では昭和62年3

月の定例会で売上税に反対する要望意見書、昭和63年7月の臨時会で新型間接税に反対する要望意見書をそれぞれ可決しており、「消費税を認知し、上乗せするような議案を認めることは議会として矛盾する」として否決をし、翌日開催の本会議においても否決をした。



平成元年第1回定例会



# 第11期議会

定数10人

[平成元年9月] → [平成5年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第十一期村議会議員選挙は、十三人が立候補し、平成元年九月三日に投票が行われ、次の十人が当選した。

### ■議員名簿

内田 勝（一期・商業・本町）  
杉本 忠義（一期・商業・栄町）  
竹内 政夫（二期・農業・元忠類）  
増田 武夫（五期・団体職員・錦町）  
西川 辰雄（五期・農業・上当）  
杉坂 達男（二期・農業・西忠類）  
印牧 茂（一期・有限会社忠類総業代表取締役・栄町）  
南山 弘美（一期・農業・西当）  
古住 基（十一期・無職・東宝）  
中村 光夫（二期・食品販売業・錦町）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、平成元年九月の第七回臨時会において、正副議長の選挙が行われ、議長に古住基議員、副議長に西川辰雄議員がそれぞれ当選した。

議長 古住 基 副議長 西川 辰雄

### ■常任委員会（委員長、副委員長を示す）

平成元年九月の第七回臨時会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

### 総務常任委員会（定数五人）

増田 武夫。中村 光夫 委員 内田 勝 印牧 茂  
古住 基

産業常任委員会（定数五人）

竹内 政夫 ○杉坂 達男 委員 南山 弘美 西川 辰雄  
杉本 忠義

一般質問・意見書・決議

平成元年十月 第八回臨時会

意見書

- ・過疎地域振興のための新立法措置に関する要望意見書

平成元年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・竹内 政夫（農業の振興と街づくりについて他二件）
  - ・内田 勝（ナウマン象記念館の冷房施設について他一件）
  - ・印牧 茂（新年度予算編成の基本的な考え方について）
  - ・南山 弘美（乳牛検定組合に対する助成について他二件）
  - ・杉本 忠義（過疎対策について他三件）
  - ・中村 光夫（充実した婦人会活動について他一件）
  - ・杉坂 達男（加工センターの設置について他一件）
  - ・増田 武夫（高額医療費の委任払い制度について他三件）
- 意見書
- ・義務教育費国庫負担法一部改正に関する要望意見書
  - ・森林の復元及び地域振興に関する要望意見書

平成二年三月 第一回定例会

一般質問

- ・南山 弘美（ふるさと創生事業基金の運用について他一件）
- ・杉坂 達男（図書室の充実と校外活動について他一件）
- ・印牧 茂（農業後継者の花嫁対策について他一件）

- ・内田 勝（外国人講師等の招へいについて）
  - ・増田 武夫（新学習指導要領について他一件）
- 意見書

- ・平成二年度加工原料乳保証価格等畜産物政策・価格実現に関する要望意見書

決議

- ・NHK帯広放送局の合理化計画の撤回と地域放送の充実に関する決議

平成二年六月 第二回定例会

一般質問

- ・杉坂 達男（市街地形成の将来構想について他一件）
- ・竹内 政夫（ゴミの完全分別収集について他四件）
- ・印牧 茂（開拓功績者年金等の見直しについて）
- ・杉本 忠義（特色ある市街地づくりについて）

意見書

- ・米の市場開放阻止、でんぷん等の現行輸入制限措置堅持に関する要望意見書

平成二年九月 第三回定例会

一般質問

- ・杉坂 達男（温泉開発調査と今後の対応について他一件）
  - ・杉本 忠義（農園付田園住宅と地場産業おこしについて他二件）
  - ・内田 勝（水道の将来構想について他一件）
  - ・中村 光夫（企業誘致の取り組みについて他一件）
  - ・印牧 茂（農畜産物加工処理研究施設について他一件）
  - ・南山 弘美（新規就農者に対する条件整備について）
  - ・増田 武夫（忠類保育所の管理について他二件）
- 意見書



・義務教育費国庫負担法から学校事務職員・栄養職員の給与費を適用除外することに反対する要望意見書

・第五次（高校第四次）教職員定数法の即時完結を求める要望意見書

#### 平成二年十二月 第四回定例会

##### 一般質問

・竹内 政夫（単身者向住宅の建設について他二件）

・増田 武夫（無医村解消の見通しについて他四件）

・南山 弘美（農村の花嫁対策について他一件）

・杉本 忠義（企業誘致について他三件）

・中村 光夫（水泳プールの改築について他一件）

・印牧 茂（簡易水道水の安全性について）

##### 決議

・北方領土の早期返還に関する決議

・石炭鉱業の存続・安定並びに産炭地域の振興に関する決議

#### 平成三年三月 第一回定例会

##### 一般質問

・内田 勝（奨学資金の導入について他一件）

・杉坂 達男（共栄牧場の多目的利用について他一件）

・杉本 忠義（年金制度の確立について他二件）

・南山 弘美（農業情報システムの推進について）

・増田 武夫（眼内レンズに対する助成について他四件）

##### 意見書

・季節労働者の生活と雇用安定のため季節労働者政策の拡充を求める要望意見書

・平成三年度加工原料乳保証価格等畜産物政策・価格実現に関する要望意見書

・白内障の人工水晶体（眼内レンズ）に関する要望意見書

#### 平成三年六月 第二回定例会

##### 一般質問

・杉本 忠義（水源調査及び下水道整備計画について他一件）

・南山 弘美（土地基盤整備の対策について）

・増田 武夫（村長の政治姿勢について他二件）

##### 意見書

・第八次治水事業五箇年計画における事業費の大幅確保に関する意見書

#### 平成三年九月 第三回定例会

##### 一般質問

・増田 武夫（重度身障者の医療費助成の拡大について他三件）

・南山 弘美（温泉開発関連事業について）

・杉本 忠義（観光協会（物産協会）の設立について他一件）

##### 意見書

・日朝国交正常化早期実現に関する要望意見書

#### 平成三年十二月 第四回定例会

##### 一般質問

・竹内 政夫（福祉バスの導入について）

・内田 勝（給食センターの新設について他一件）

・杉本 忠義（生涯学習の推進について他二件）

・南山 弘美（農業振興の方策について）

・増田 武夫（地方交付税率引き下げ反対について他二件）

##### 意見書

・看護婦確保対策に関する要望意見書

・義務教育費国庫負担法から学校事務職員・栄養職員の給与費を適用除外することに反対する要望意見書

・酪農・畜産経営の緊急安定化対策に関する要望意見書

## 決議

- ・暴力テロ犯罪追放に関する決議

## 意見書

- ・第十一次道路整備五箇年計画の大幅な事業費の確保に関する要望意見書

### 平成四年三月 第一回定例会

#### 一般質問

- ・竹内 政夫（仮設浴場の設置について他一件）
- ・杉坂 達男（街並み整備と補償問題について他二件）
- ・杉本 忠義（行政区の見直しについて他二件）
- ・中村 光夫（定住化促進計画について他二件）
- ・南山 弘美（高齢者福祉対策について他一件）
- ・印牧 茂（水道使用料について他一件）
- ・増田 武夫（消費税転嫁の方針撤回と政治姿勢について他一件）

## 意見書

- ・平成四年度加工原料乳保証価格等畜産物政策・価格実現に関する要望意見書

## 見書

### 平成四年六月 第二回定例会

#### 一般質問

- ・増田 武夫（農水省の新農業政策について他二件）
- ・杉本 忠義（農村情報・防災行政無線の有効利用について他一件）

## 意見書

- ・森林の復元、新たな林業政策の確立と国有林再建、地域林業活性化（地域振興）に関する要望意見書

### 平成四年九月 第三回定例会

#### 一般質問

- ・中村 光夫（公営住宅使用料の減免・助成について）
- ・杉本 忠義（福祉サービスの一元化に伴う対策について他一件）
- ・増田 武夫（PKO法の発動阻止について他一件）

### 平成四年十一月 第四回臨時会

#### 意見書

- ・農業農村整備事業の推進と予算の確保についての要望意見書
- ・佐川急便事件の徹底説明を求める要望意見書

### 平成四年十二月 第四回定例会

#### 一般質問

- ・内田 勝（独居老人宅への緊急通報システムの導入について他一件）
- ・西川 辰雄（週休二日制の完全実施への対応について他二件）
- ・杉本 忠義（温泉施設の基本的な考え方について）
- ・印牧 茂（救急車の出動体制の強化について）
- ・増田 武夫（農畜産物の輸入自由化への反対について他三件）
- ・南山 弘美（農業振興のための組織体制について）

## 意見書

- ・農畜産物市場開放阻止に関する要望意見書
- ・障害児教育における「通信学級の制度化」及び「地域療育推進体制の早期確立」に関する要望意見書
- ・農業災害補償制度の改善促進と平成五年度農業共済保険予算の確保についての要望意見書

### 平成五年三月 第一回定例会

#### 一般質問

- ・増田 武夫（老人保健福祉計画の策定について他三件）
- ・北海道新幹線の早期着上に関する要望意見書
- ・コメなど農畜産物輸入自由化問題をめぐる国会決議遵守と政府の統一対



応を求める要望意見書

- ・国立病院・診療所を拡充強化し、国立医療、地域医療を充実するため、賃金職員の抑制をはじめとする合理化に反対する意見書

決議

- ・「農畜産物自給確立の村」宣言に関する決議

平成五年六月 第二回定例会

一般質問

- ・杉坂 達男（地域活性化対策とその対応について）
- ・増田 武夫（非核平和宣言の実現について他一件）
- ・杉本 忠義（国道二三六号線の整備計画について他一件）
- ・中村 光夫（ゴミの収集体制について）

意見書

- ・郵政事業の現行経営形態堅持を求める要望意見書

# トピックス

ナウマン公園パークゴルフ場



## 「一般会計予算」初の30億円台に

平成5年度の一般会計及び各特別会計予算は、平成5年3月18日に開催された第1回定例会において、予算審査特別委員会委員長の報告のとおり可決された。

一般会計は、自噴した温泉を利用した宿泊研修施設の建設や学校給食センターなどの大型事業に着手するため、前年比27%増の31億6千万円となり、初の30億円台に乗った。

村民の健康づくりや観光の核として計画した温泉利用の宿泊研修施設は2カ年で建設。総事業費は11億円で、平成5年度ではそのうち約6億円を見込んでいる。

また、白銀町に建設する学校給食センターには1億2千万円、スクールバスの更新に980万円、公営住宅の建設に5,900万円などを計上している。



学校給食センター安全祈願祭

## 「農畜産物自給確立の村」宣言に関する決議を議決

平成5年3月の第1回定例会において「農畜産物自給確立の村」宣言に関する決議を可決した。

この決議は、「忠類村の基幹産業である農業は、その優れた自然風土を生かした新鮮で安全な農畜産物を安定供給するとともに、人と自然の調和した緑豊かな村づくりのために重要な役割を担っている。しかし、近年、輸入自由化など、農業を取り

巻く情勢は非常に厳しいものになっている。

もとより、主要な農畜産物は自国において自給すべきものであり、農業基盤を維持し活力ある村の発展に期するためにも、その自給体制を確立することは極めて重要である。よって、忠類村は『農畜産物自給確立の村』を宣言する。(要約)」という内容であった。



「農畜産物自給確立の村」宣言を掲示



# 第12期議会

定数10人

[平成5年9月] → [平成9年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第十二期村議会議員選挙は、十一人が立候補し、平成五年九月五日に投票が行われ、次の十人が当選した。

### ■議員名簿

草野 奉常（一期・農業・中当）  
竹内 政夫（三期・農業・元忠類）  
南山 弘美（二期・農業・西当）  
増田 武夫（六期・団体職員・錦町）  
杉坂 達男（三期・農業・西忠類）  
大坂 雄一（一期・商業・本町）  
内田 勝（二期・商業・本町）  
西川 辰雄（六期・農業・上当）  
竹原 義雄（三期・無職・錦町）  
印牧 茂（二期・会社役員・栄町）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、平成五年九月の第四回臨時会において、正副議長の選挙が行われ、議長に西川辰雄議員、副議長に竹内政夫議員がそれぞれ当選した。

議長 西川 辰雄    副議長 竹内 政夫

### ■常任委員会（委員長、副委員長を示す）

平成五年九月の第四回臨時会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

### 総務常任委員会（定数五人）

増田 武夫    印牧 茂    委員 竹原 義雄 大坂 雄一、  
西川 辰雄

産業常任委員会（定数五人）

杉坂 達男 ○内田 勝 委員 南山 弘美 竹内 政夫  
草野 奉常

一般質問・意見書・決議

平成五年九月 第三回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（冷害対策と営農を守る方策について他二件）
  - ・南山 弘美（農業推進会議組織の設置について他一件）
  - ・内田 勝（まちなみ整備事業の進捗状況について他一件）
- 決議

・「忠類村非核平和宣言」に関する決議

平成五年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・杉坂 達男（抜本的な農業振興策の実現について他一件）
  - ・増田 武夫（村長の政治姿勢について他一件）
  - ・草野 奉常（学校給食事業について）
  - ・大坂 雄一（農業経営者への対策について）
- 意見書

- ・アイヌ民族に関する法律制定の早期実現を求める意見書
- ・国の季節労働者援護制度の存続と改善を求める要望意見書
- ・病院給食費の患者負担に反対する要望意見書
- ・乳製品輸入自由化（関税化）阻止と学校給食用牛乳予算確保に関する要望意見書

決議

- ・農畜産物の輸入自由化受入れの閣議決定の早期撤回を求める決議

平成六年二月 第一回臨時会

意見書

- ・治水事業の推進に関する要望意見書

平成六年三月 第一回定例会

一般質問

- ・南山 弘美（村長の進退問題について）
  - ・増田 武夫（請負契約の一般競争入札の導入について他一件）
- 意見書

- ・国際環境の変化に対応した農業政策の確立に関する要望意見書

平成六年六月 第二回定例会

一般質問

- ・大坂 雄一（福祉施設整備計画と生きがい対策について）
  - ・増田 武夫（村民要望の生かされる村政の執行について他三件）
  - ・南山 弘美（農業振興の具体策について）
- 意見書

- ・私学助成の抑制・「一般財源化」に反対し、私学経常経費の二分の一助成と四十人学級実現等特別助成を求める要望意見書
- ・原爆被害者援護法の制度を求める要望意見書
- ・北海道開発庁の存続に関する意見書
- ・農業農村整備事業の推進と予算確保についての要望意見書

平成六年九月 第三回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（入院給食費に対する助成について他二件）
- ・草野 奉常（育成牛の通年預託事業の実施について）
- ・杉坂 達男（有害鳥獣対策について他一件）



意見書

- ・消費税の引き上げをせず食料品非課税を求める意見書
- ・義務教育費国庫負担法から学校事務職員・栄養職員の給与費を適用除外することに反対する意見書

- ・国民の休日「海の日」制定を求める意見書

決議

- ・米及び農畜産物輸入自由化阻止のため「ガット農業合意」に基づく協定の国会批准に反対する決議

平成六年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・大坂 雄一（総合保健福祉センター建設計画について）
- ・増田 武夫（いじめ問題への取り組みについて他三件）

意見書

- ・新学習指導要領の見直しを求める意見書
- ・国の季節労働者援護制度の延長・改善を求める意見書

平成七年三月 第一回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（入院給食費助成の実施について他四件）
- ・南山 弘美（農畜産物輸入自由化への対応策について）
- ・大坂 雄一（シルバー人材センターの早期実現について）
- ・杉坂 達男（地域活性化対策の取り組み強化について）

意見書

- ・地方分権の推進に関する要望意見書

平成七年六月 第二回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（職員の確保 適正配置の問題について他一件）

- ・南山 弘美（農村部のトイレ水洗化における処理方法について）

意見書

- ・帯広測候所の地方気象台昇格、及び三陸沖から北海道東方沖にかけての太平洋岸の地震観測強化を求める意見書

- ・義務教育費国庫負担法から学校事務職員・栄養職員の給与費を適用除外することに反対する意見書

- ・寒冷地手当の削減に反対する意見書

平成七年九月 第三回定例会

一般質問

- ・内田 勝（乳幼児託児所の必要性について他一件）
- ・大坂 雄一（今後の老人福祉のあり方について他一件）
- ・増田 武夫（官官接待の廃止について他一件）
- ・草野 奉常（街路樹の管理について他一件）

意見書

- ・フランス及び中国の核実験の停止を求める意見書
- ・畑作三品価格等に関する要望意見書

決議

- ・フランス及び中国の核実験に抗議し今後の実験中止を求める決議

平成七年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（国の政策に対する村の姿勢について他一件）
- ・南山 弘美（酪農畑作振興について他一件）

意見書

- ・エキノコックス症の治療対策強化に関する要望意見書
- ・米海兵隊の砲弾訓練の北海道移転に反対する要望意見書
- ・農水産業・中小企業を救済するためにセーフガード（緊急輸入制限）の発動を求める要望意見書

## 決議

- ・「官官接待」と「カラ会議、カラ出張」など不正行為の根絶に関する決議

### 平成八年三月 第一回定例会

#### 一般質問

- ・大坂 雄一（自治体における行政改革について他一件）
  - ・杉坂 達男（地域農業活性化計画の策定について他一件）
  - ・増田 武夫（農業後継者に対する財政的援助について他一件）
- #### 意見書
- ・住専処理への税金投入を予算から削除することを求める意見書
  - ・平成八年度畜産物価格等に関する要望意見書
  - ・寒冷地手当の削減に反対する要望意見書
  - ・地方分権の推進に関する要望意見書
  - ・新たな「食糧・農業・農村基本法の制定」を求める要望意見書

### 平成八年六月 第二回定例会

#### 一般質問

- ・増田 武夫（広尾保健所の廃止問題について他一件）
- ・草野 奉常（現在不在になっている収入役について他一件）
- ・南山 弘美（新規就農対策等について）

#### 意見書

- ・第九次治水事業五箇年計画における大幅な事業費の確保に関する要望意見書
- ・義務教育費国庫負担法から学校事務職員・栄養職員の給与費を適用除外することに反対する要望意見書
- ・消費税率の5%の引き上げ及び「見直し」による再引き上げ反対に関する要望意見書
- ・高齢者介護保険制度に関する要望意見書
- ・広尾保健所の存続を求める要望意見書

- ・核実験全面禁止条約の締結を求める要望意見書

### 平成八年八月 第四回臨時会

#### 意見書

- ・道路財源堅持等に関する要望意見書

### 平成八年九月 第三回定例会

#### 一般質問

- ・大坂 雄一（行政改革の今後の取り組み方について）
  - ・増田 武夫（冷害対策の早期実施について他一件）
  - ・杉坂 達男（旧保育センターの有効活用について）
- #### 意見書
- ・季節労働者等冬期援護制度の延長・改善等を求める要望意見書

### 平成八年十二月 第四回定例会

#### 一般質問

- ・内田 勝（防災体制について他一件）
- ・増田 武夫（寝たきり老人の介護手当の支給について他一件）
- ・南山 弘美（ガット対策事業の展開について）

### 平成九年三月 第一回定例会

#### 一般質問

- ・大坂 雄一（村条例の見直しについて他一件）
  - ・増田 武夫（福寿を活用した村づくりについて他一件）
  - ・杉坂 達男（住宅政策について他一件）
- #### 意見書
- ・医療・福祉・介護、社会保障の充実を求める意見書
  - ・地震など自然災害対策の充実に関する意見書
  - ・広尾測候所の廃止に反対し機能拡充を求める意見書



- ・森林・林業の活性化、国有林野事業の健全な発展に関する意見書  
決議

- ・十勝農業共済組合忠類支所家畜診療所存続要請に関する決議

平成九年六月 第二回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（住民サービス向上のための勤務体制の改善について他二件）
- ・竹内 政夫（村道の整備計画について）
- ・杉坂 達男（村営牧場の整備計画と関連対策について）
- ・内田 勝（情報公開制度について他一件）  
意見書

- ・北海道開発庁の存置を求める意見書
- ・郵政三事業の現行経営形態の堅持に関する意見書
- ・十勝地方の気象観測の強化を求める意見書
- ・保健所の統廃合反対、現在十勝にある五保健所の存続と充実を求める意見書
- ・国有林の民営化に反対し国有林の再生を求める意見書  
決議
- ・銃器犯罪の根絶に関する決議

# トピックス

忠類物産センター



## 「第3セクター設立に伴う出資」を議決

平成5年9月の第3回定例会において、「第3セクターを設立するためとして忠類観光物産㈱に1,450万円を出資する」という内容の議案を原案のとおり可決した。

この第3セクターは、国道236号線沿いに建設されている宿泊研修施設「忠類コミュニティハウス（仮称）」を運営するために忠類観光物産㈱を公社化して第3セクターを設立する

もので、忠類観光物産㈱は、同年12月に村から1,450万円の出資を受け、会社名を「株式会社忠類振興公社」に変更した。

宿泊研修施設は、露天風呂やサウナ、ジェットバスなどを備えた浴場にレストラン、72人（18室）の宿泊機能を持つ施設で名称を「ナウマン温泉・アルコ236」として、平成6年8月1日にオープンした。



ナウマン温泉アルコ236

## 「忠類村定住促進条例」を議決

平成8年3月の第1回定例会において「忠類村定住促進条例の制定について」を原案のとおり可決した。

この条例は、過疎地域活性化対策として、「住んでよかったと実感できる村づくり」を目指すため、これからも本村に住み続ける住民や新しく村民になる方々を奨励金などで応援するもので、平成17年度までの10年間に事業期間としている。

事業主等が結婚した場合は30万円などの「結婚祝金」、第3子以上は10万円などの「出産祝金」、Uターン者・新規転入者には20万円などの「定住促進奨励金」、住宅を新築した場合には100万円を限度に費用の10分の1を助成などの「住宅建設等奨励金」のほか「高校生等就学奨励金」を支給する内容となっている。



せせらぎ団地



# 第13期議会

定数10人

[平成9年9月] → [平成13年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第十三期村議会議員選挙は、平成九年八月二十五日に告示され、次の十人が無投票当選した。

### ■議員名簿

齊藤 順教（一期・僧侶・幸町）  
草野 奉常（二期・農業・豊成）  
印牧 茂（三期・会社役員・栄町）  
竹内 政夫（四期・農業・元忠類）  
大坂 雄一（二期・商業・本町）  
西川 辰雄（七期・農業・上当）  
増田 武夫（七期・団体職員・錦町）  
南山 弘美（三期・農業・西当）  
内田 勝（三期・商業・本町）  
杉坂 達男（四期・農業・上忠類）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、平成九年九月の第四回臨時会において、正副議長の選挙が行われ、議長に西川辰雄議員、副議長に杉坂達男議員がそれぞれ当選した。

議長 西川 辰雄 副議長 杉坂 達男

### ■常任委員会（委員長、副委員長を示す）

平成九年九月の第四回臨時会において、総務、産業の各常任委員会の正副委員長及び委員が、次のとおり選任された。

### 総務常任委員会（定数五人）

増田 武夫。内田 勝 委員 大坂 雄一、齊藤 順教、  
西川 辰雄

産業常任委員会（定数五人）

南山 弘美 ○草野 奉常 委員 竹内 政夫 印牧 茂  
杉坂 達男

一般質問・意見書・決議

平成九年九月 第三回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（ごみの分別収集とダイオキシン対策について他四件）
  - ・草野 奉常（農業活性化計画の進捗状況について）
  - ・齊藤 順教（企業誘致の失敗と村の今後の対応について）
  - ・南山 弘美（農村部の水洗化計画について）
- 意見書

- ・義務教育費国庫負担法から事務職員・栄養職員の給与費を適用除外することに反対する意見書
- ・中央省庁の再編などに係る北海道開発体制に関する意見書
- ・道路特定財源堅持等に関する意見書

平成九年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・杉坂 達男（当面する懸案事項の対応について）
  - ・増田 武夫（新年度予算の編成方針について他三件）
- 意見書

- ・特定疾患医療費公費負担制度の継続と難病対策の充実・強化に関する意見書

平成十年三月 第一回定例会

一般質問

- ・齊藤 順教（市街地における環境美化について他一件）

- ・大坂 雄一（老人福祉の今後の取り組み方について他一件）
- ・竹内 政夫（外国語指導助手の招へいについて他一件）
- ・増田 武夫（介護保険に対する村の取り組みについて他二件）
- ・内田 勝（市街地の商店街の活性化について）

意見書

- ・小麦の民間流通への移行ではなく、価格安定と品種改良による国内小麦振興を図るための要望意見書

平成十年六月 第二回定例会

一般質問

- ・草野 奉常（アルコ236のホールの改修について）
  - ・増田 武夫（古い公営住宅の改善、修理について他二件）
  - ・杉坂 達男（本村の住宅政策に民間活力の導入について）
- 意見書

- ・「公立高等学校入学者選抜に関する改善案」に反対する要望意見書
- ・インド・パキスタンの核実験に抗議し、核兵器全面禁止・核廃絶の国際条約の締結を求める意見書

平成十年九月 第三回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（環境ホルモンと住民の健康や安全の配慮について他二件）
  - ・齊藤 順教（若者広場整備事業に伴う遊歩道の整備について）
- 意見書

- ・東京地裁判決を機にJR採用差別事件の早期解決を求める意見書
- ・過疎地域活性化のための新立法措置に関する意見書
- ・「食料・農業・農村地域に関する新たな基本法」の制定に関する意見書
- ・大豆やビート、加工原料乳などの価格支持政策の廃止ではなく、拡充を求める意見書



平成十年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（新農業基本法による価格保障制度の廃止について他一件）
- ・南山 弘美（農業振興対策について）

意見書

- ・小児慢性特定疾患の治療費に関する意見書
- ・乳幼児医療の助成に関する意見書
- ・介護保険制度改善に関する意見書
- ・教育予算の充実と義務教育費国庫負担法の堅持を求める意見書
- ・消費税減税を求める意見書
- ・季節労働者の雇用対策等に関する意見書
- ・道路特定財源等に関する意見書

平成十一年三月 第一回定例会

一般質問

- ・齊藤 順教（北十一線道路の歩道設置について）
- ・杉坂 達男（村議会議員の村内日当について他一件）
- ・大坂 雄一（行政改革における事務事業評価機関の設置について）
- ・増田 武夫（介護保険料の試算等制度の実態について他三件）
- ・草野 奉常（職員のスポーツ大会出場に係る経費補償について）

意見書

- ・国立病院・療養所の廃止・民営化・地方移譲・独立行政法人化に反対し、存続・拡充を求める意見書
- ・地方分権の実現に関する意見書

平成十一年六月 第二回定例会

一般質問

- ・内田 勝（介護保険制度の住民の理解について他一件）
- ・齊藤 順教（新入生少数入学の対策について）

- ・南山 弘美（忠類苗畑廃止の対応と哺育センターの跡地取得について）
- ・増田 武夫（地方分権一括法案について他三件）

意見書

- ・教育予算の充実と義務教育費国庫負担法の堅持を求める要望意見書

平成十一年九月 第三回定例会

一般質問

- ・杉坂 達男（行政改革について他一件）
- ・増田 武夫（国旗国歌法案について他一件）

意見書

- ・三十人学級の早期実現と私学助成の大幅増額をはじめ教育予算の拡充を求める意見書
- ・年金制度の改善を求める意見書
- ・「介護保険制度」の改善等を求める意見書
- ・道路特定財源等に関する意見書
- ・北海道の畑作と酪農・畜産を守る意見書
- ・JR採用差別問題の早期解決を求める意見書

平成十一年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（市町村の合併問題について他一件）
- ・大坂 雄一（行政改革に伴う事務事業の評価機関の設置について）
- ・草野 奉常（道々の改良工事について）
- ・内田 勝（地方分権・市町村合併の対応について）

意見書

- ・帯広畜産大学原虫病研究センターの全国共同利用施設への格上げ新設要望に関する意見書
- ・家畜排せつ物法の農家負担の軽減を求める意見書
- ・新たな食料・農業・農村基本法の具体化と食料安全保障の確立を求める

意見書

- ・深刻な雇用・失業情勢に対応し、労働行政の充実・強化を求める意見書

平成十二年三月 第一回定例会

一般質問

- ・杉坂 達男（市町村合併について）

- ・竹内 政夫（浦幌道有林管理センターの苗畑事業の今後の運営について

他一件）

- ・齊藤 順教（新生活運動推進協議会について他三件）

- ・増田 武夫（地方債の現状と今後の見通しについて他二件）

- ・南山 弘美（道営中山間地域総合整備事業の実施計画の概要について）

意見書

- ・治安維持法犠牲者国家賠償法の制定に関する意見書

- ・林政の基本問題に関する意見書

- ・季節労働者冬期援護制度の存続・改善等を求める意見書

- ・酪農・畜産基本政策の確立及び畜産物価格等に関する意見書

- ・安心できる農業者年金制度への再構築に関する意見書

平成十二年六月 第二回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（介護保険制度の実績について）

- ・齊藤 順教（市街地の環境美化について）

- ・南山 弘美（大雨融雪等被害に対する対応策について）

意見書

- ・教育予算の充実と義務教育費国庫負担法の堅持を求める意見書

- ・三十人学級の早期実現・私学助成の充実と教育予算充実を求める意見書

- ・「公立高等学校配置の基本指針と見直し」の見直しを求める意見書

- ・雇用・失業情勢の深刻化に対応するための労働行政の体制整備を緊急に

求める意見書

平成十二年九月 第三回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（雪印乳業問題について）

- ・南山 弘美（忠類苗畑取得後の育苗事業の協議の進捗状況について）

- ・大坂 雄一（行政の行う事務事業の評価機関設置について）

意見書

- ・介護保険の改善・充実を求める意見書

- ・道路特定財源等に関する意見書

平成十二年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・増田 武夫（特別養護老人ホームの建設について他二件）

- ・杉坂 達男（新年度予算編成の基本的な考え方と今後の財政運営につい

て）

- ・内田 勝（事務処理のＯＡ化と職員定数について）

意見書

- ・社会保障制度の堅持に関する意見書

平成十三年三月 第一回定例会

一般質問

- ・齊藤 順教（ナウマン象記念館の管理運営について他二件）

- ・増田 武夫（高齢者福祉の向上について他三件）

- ・草野 奉常（職員の資質向上について）

- ・南山 弘美（新年度の農業振興策とコントラクター事業の体制について）

意見書

- ・小中学校教科書検定に関する意見書

- ・緊急地域雇用特別交付金の継続と改善に関する意見書

- ・特別間伐事業の創設を求める意見書



平成十三年六月 第二回定例会

一般質問

・杉坂 達男（市民農園の整備計画について）

・増田 武夫（子育て支援センターのあり方について他二件）

意見書

・市町村合併に関する意見書

・地方交付税と国庫支出金の削減に反対する意見書

・教育予算の充実と義務教育費国庫負担法の堅持を求める意見書

平成十三年八月 第五回臨時会

意見書

・「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」に関する意見書

# トピックス

忠類村高齢者生活福祉センター



## 議会の活性化に向けて

平成11年1月に、議決対象、審議方式、議会事務局の体制などの制度、運営の両面から見直しを行うなど、村議会のあり方について検討する時期にきているとして、議会内部に全議員による「議会活性化検討委員会」を立ち上げた。

検討の結果、「議員の費用弁償の村内日当の廃止」「一般質問に関して」「議会だよりの充実」「議会事務

局体制の整備」「議会の活性化と住民の関係」「議会・委員会の公開」などについて、議員個々が十分な認識のもとに今後の活動を行うことに決定した。

なお、議員の費用弁償については、同年第1回定例会において、村内日当廃止の条例改正を議決し、議会の活性化に向けて一歩踏み出した。



南十勝町村議会議員研修会

## 合併問題に関する アンケートの実施

本議会の合併問題に関する取り組みは、管内町村の議会よりも先駆けての取り組みであり、平成13年4月に「市町村合併問題学習会」を発足させた。

学習会では、各政党や道内選出の国会議員、地元選出の道議会議員を対象に「市町村合併に対する態度と今後の方針についてどう考えているか」など3点についてアンケート調

査を行った。

その結果、6政党のうち4政党、国会議員24人にうち4人、道議会4人のうち2人から回答があった。地方議会から合併についての意見を求められながら、多くの議員等から回答がなかったことは大変残念であった。



中学生を対象にした合併教室



# 第14期議会

定数10人

[平成13年9月] → [平成17年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第十四期村議会議員選挙は、十三人が立候補し、平成十三年八月二十六日に投票が行われ、次の十人が当選した。

### ■議員名簿

杉坂 達男（五期・農業・上忠類）  
増田 武夫（八期・団体職員・錦町）  
草野 奉常（三期・農業・豊成）  
岡田 和志（一期・無職・元忠類）  
南山 弘美（四期・農業・西当）  
齊藤 順教（二期・僧侶・幸町）  
角谷 俊紀（一期・畜産業・元忠類）  
大坂 雄一（三期・商業・本町）  
内田 勝（四期・商業・本町）  
印牧 茂（四期・会社役員・栄町）

\* 印牧茂議員の退職（平成十三年十月）に伴い、次の者が繰り上げ当選となった。

中村 弘子（一期・商業・錦町）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、平成十三年九月の第六回臨時会において、正副議長の選挙が行われ、議長に杉坂達男議員、副議長に南山弘美議員がそれぞれ当選した。

議長 杉坂 達男      副議長 南山 弘美

### ■常任委員会（委員長、副委員長を示す）

平成十三年九月の第六回臨時会において、総務、産業の各常任委員会の委員が次のとおり選任され、本会議終了後開催された各委員会において、正副

委員長が次のとおり互選された。

総務常任委員会（定数五人）

増田 武夫 ○内田 勝 委員 岡田 和志、齊藤 順教  
杉坂 達男

産業常任委員会（定数五人）

草野 奉常 ○印牧 茂 委員 大坂 雄一、角谷 俊紀  
南山 弘美

\* 同年十一月の第七回臨時会において、繰上げ当選した中村弘子議員が総務常任委員に選任され、内田勝議員が総務常任委員から産業常任委員に変更となった。本会議終了後開催された委員会において、総務常任副委員長に齊藤順教委員、産業常任副委員長に内田勝委員がそれぞれ互選された。

総務常任副委員長 齊藤 順教 産業常任副委員長 内田 勝

\* 内田勝産業常任副委員長が平成十六年二月八日に死去したことから、平成十六年二月十六日開催の委員会において、後任の産業常任副委員長に大坂雄一委員が互選された。

産業常任副委員長 大坂 雄一

■市町村合併問題調査特別委員会（委員長、○副委員長を示す）

平成十五年三月の第一回定例会において、市町村合併問題調査特別委員会（全議員で構成）が設置され、本会議終了後開催された委員会において、正副委員長が次のとおり互選された。

齊藤 順教 ○内田 勝 委員 南山 弘美、大坂 雄一、  
草野 奉常、岡田 和志、中村 弘子、角谷 俊紀、増田 武夫、  
杉坂 達男

\* 内田勝副委員長が平成十六年二月八日に死去したことから、平成十六年四月十三日開催の委員会において、後任の副委員長に角谷俊紀委員が互選された。

副委員長 角谷 俊紀

■議員定数調査特別委員会（委員長、○副委員長を示す）

平成十六年九月の第三回定例会において、議員定数調査特別委員会（全議員で構成）が設置され、本会議終了後開催された委員会において、正副委員長が次のとおり互選された。

南山 弘美 ○草野 奉常 委員 大坂 雄一、岡田 和志  
中村 弘子、角谷 俊紀、齊藤 順教、増田 武夫、杉坂 達男

## 一般質問・意見書・決議

平成十三年九月 第三回定例会

一般質問

- ・ 齊藤 順教（切りすぎにより枯れた街路樹の対処について）
- ・ 増田 武夫（市町村合併問題について他一件）
- ・ 岡田 和志（保育所の安全と充実について）

意見書

- ・ 医療制度の改革に関する意見書
- ・ じん肺被災者の救済とじん肺根絶に関する意見書
- ・ 公営住宅の建設に関する意見書
- ・ 「狂牛病」感染疑惑について、万全な対策を求める意見書

平成十三年十二月 第四回定例会

一般質問

- ・ 中村 弘子（シルバー人材センターの設立について）
  - ・ 内田 勝（村の失業状況とその対策について他一件）
  - ・ 岡田 和志（牧場用地購入の利用目的と管理体制について）
  - ・ 増田 武夫（緊急地域雇用創出特別交付金の活用について他一件）
- 意見書

- ・ 医療費の患者、国民負担増の計画中止を求める意見書
- ・ 育英会奨学資金制度に関する意見書



・中小企業の当面する金融上の困難を解消し、「金融アセスメント法」の早期制定を求める意見書

・住宅金融公庫の存続に関する意見書

・牛海綿状脳症（BSE）対策に関する意見書

平成十四年三月 第一回定例会

一般質問

・岡田 和志（学校五日制の対策について）

・齊藤 順教（新年度予算について他二件）

・角谷 俊紀（誘致した企業育成について他一件）

・増田 武夫（医療費の自己負担に対する施策について他一件）

意見書

・高規格幹線道路帯広・広尾自動車道の建設見直しを求める意見書

平成十四年六月 第二回定例会

一般質問

・齊藤 順教（高規格道路の計画の見直しについて）

・草野 奉常（コントラクター事業の取り組みについて）

・増田 武夫（村長の政治姿勢について他二件）

意見書

・教育基本法施行五十五周年にあたり、その理念・精神を生かした教育改革の推進および教育諸条件を整備するための教育予算拡充を国に対して求める要望意見書

・「森林・林業政策の充実と雇用創出」に向けた森林関連予算の充実を求める意見書

平成十四年九月 第三回定例会

一般質問

・岡田 和志（住民基本台帳ネットワークについて）

・増田 武夫（お年寄りの医療費負担増の対策について他二件）  
・角谷 俊紀（犬と人との運動広場「ドッグラン」の設置について）

意見書

・地方税源の充実確保に関する意見書

・地方交付税の拡充に関する意見書

決議

・市町村合併に関する特別決議

平成十四年十二月 第四回定例会

一般質問

・増田 武夫（障害者の支援制度の対応について他一件）

・内田 勝（新年度予算の基本的な考え方について他一件）

意見書

・「ペイオフ全面解禁」延期と、地方公共団体の公金預金を「ペイオフ」対象から除外し、全額保護を求める意見書

・国有林改革における北海道森林管理局帯広分局機能の存続と同分局森林技術センター存続・機能強化に関する要望意見書

・地方自治の原則を踏みにじる小規模町村の権限縮小や合併押し付けに反対する意見書

・介護保険の改善に関する意見書

平成十五年三月 第一回定例会

一般質問

・岡田 和志（アルコ236について）

・齊藤 順教（村道の交通安全対策について）

・増田 武夫（市町村合併について他一件）

・草野 奉常（健康な村づくり対策について）

意見書

・医療費三割負担の実施凍結を求める意見書

- ・イラク問題を国連の枠組みで平和解決することを求める意見書
- ・失業対策の拡充と通年雇用安定給付金制度の存続・改善を求める要望意見書

- ・年金の引き下げ中止を求める意見書
- ・WTO農業交渉等に関する要望意見書

#### 平成十五年六月 第二回定例会

##### 一般質問

- ・増田 武夫（高齢者福祉に対する取り組み姿勢について他一件）

##### 意見書

- ・三十人以下学級実現等、教育予算の充実を求め義務教育費国庫負担法の改正に反対することを国に対して求める要望意見書
- ・教育基本法改定の中止を求める意見書
- ・家畜ふん尿適正処理対策の促進を求める意見書

#### 平成十五年九月 第三回定例会

##### 一般質問

- ・増田 武夫（任意合併協議会での議論について他一件）
- ・岡田 和志（防災計画と災害対策について）
- ・中村 弘子（ごみ減量化対策について）

##### 意見書

- ・イラクへの自衛隊派兵反対に関する意見書
- ・国民年金に関する意見書
- ・政府税制調査会の答申に関する意見書
- ・北海道新幹線の建設促進を求める意見書

#### 平成十五年十二月 第四回定例会

##### 一般質問

- ・草野 奉常（農業振興策について）

- ・増田 武夫（合併に関する住民投票について他一件）

##### 意見書

- ・イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書
- ・北海道警察における「捜査用報償費」流用疑惑の解明を求める意見書
- ・シベリア抑留者の未払い賃金問題の早期解決を求める意見書
- ・季節労働者対策に関する意見書
- ・平成十五年十勝沖地震災害対策に関する意見書

#### 平成十六年三月 第一回定例会

##### 一般質問

- ・岡田 和志（二歳未満児の通年保育と認可保育所への移行について）
- ・角谷 俊紀（ごみ有料化に対する普及啓蒙の方法等について）
- ・齊藤 順教（家庭教育の具体的な取り組みについて）
- ・南山 弘美（平成十六年度の産業振興について）
- ・増田 武夫（地方交付税等の大幅な削減について他一件）

##### 意見書

- ・年金「改正」法案の撤回を求める意見書
- ・地方交付税の制度堅持と総枠確保に関する意見書
- ・平成十六年度酪農畜産政策・価格対策に関する要望意見書
- ・食の安全と食料自給率向上に関する意見書

#### 平成十六年五月 第二回臨時会

##### 意見書

- ・三十人以下学級実現等、教育予算の充実を求め義務教育費国庫負担法の改正に反対することを国に対して求める要望意見書

#### 平成十六年六月 第二回定例会

##### 一般質問

- ・増田 武夫（合併した場合のデメリットについて他一件）



・南山 弘美（家畜ふん尿処理施設の未整備農家の対応について）  
意見書

・地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進を求める要望意見書  
・中山間地域等直接支払制度の存続と拡充を求める意見書

平成十六年九月 第三回定例会

一般質問

・中村 弘子（高齢者人材センターの設置について）  
・増田 武夫（合併問題について）  
・草野 奉常（道の駅周辺整備に関する住民要望への対応について）  
意見書

・地方交付税の総額確保に関する意見書  
・義務教育費国庫負担の維持に関する意見書  
・介護保険の見直しと充実に関する意見書  
・日本郵政公社存続に関する意見書  
・建設・季節労働者の仕事と生活を守る特別対策に関する意見書  
・道路整備に関する意見書  
・教育基本法改正に反対し、憲法・教育基本法の理念を生かした教育の実現を求める意見書

平成十六年十二月 第四回定例会

一般質問

・増田 武夫（「三位一体改革」と本村の来年度予算について他一件）  
・岡田 和志（体育館の暖房器具の更新について）  
意見書

・所得税定率減税に関する意見書  
・「介護福祉士試験の在り方等介護福祉士の質の向上に関する検討会報告書」に係る資格取得方法の見直しをすることを求める意見書

・BSE（牛海綿状脳症）発生時における疑似患畜の対応見直しを求める

意見書

決議

・北方領土の早期復帰の実現及び竹島の領土権保全等に関する決議

平成十七年三月 第一回定例会

一般質問

・増田 武夫（福祉施策の合併後継続について他一件）  
・草野 奉常（高規格道路帯広・広尾自動車道の進捗状況について）  
意見書

・「定率減税」の廃止を行わないことを求める意見書  
・介護保険制度の充実を求める意見書  
・平成十七年度酪農畜産政策・価格対策に関する要望意見書  
・北海道十勝産農産物を遺伝子組み換え農産物の交雑・混入から守る要望  
意見書

平成十七年六月 第二回定例会

一般質問

・岡田 和志（議決後の合併に関しての進捗状況について）  
・草野 奉常（収入未済額の回収の対応について）  
・増田 武夫（道の駅の整備について他二件）  
意見書

・分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書  
・診療所経営及び交付税措置の改善に関わる要望意見書  
・緊急地域雇用創出特別交付金制度の延長・改善を求める意見書  
・温暖化ガス吸収源としての森林機能対策充実に関する意見書  
・生鮮馬鈴薯の輸入解禁に反対する要望意見書

# トピックス

十勝沖地震で決壊した村道



## 「高規格幹線道路帯広・広尾自動車道の 建設見直しを求める意見書」を議決

平成14年3月の第1回定例会において、「高規格幹線道路帯広・広尾自動車道の建設見直しを求める意見書」を可決し、関係省庁へ送付した。

意見書は「地域住民から自然環境、農業、地域社会への影響を心配する声が出ている」とした上で、「帯広空港周辺までの建設で打ち切り、それ以南の道路整備は既存国道の拡幅で対応する」「見直して節約される

財源を地方交付税の削減中止などに振り向ける」の2点を求めている。

この意見書は、十勝管内はもとより、道内外に大きな反響を呼び、多くの報道機関が取材のため忠類村を訪れた。また、この意見書に対し、村内では、同年5月に「高規格道路建設推進会」が設立された。



高規格道路説明会

## 議員定数を8人に削減

平成17年3月の第1回定例会において、「忠類村議会の議員の定数を定める条例の改正について」を原案のとおり可決した。

「10人」から「8人」に削減するもので、次の一般選挙から適用することとなった。

議員定数の改正については、平成16年9月の第3回定例会において設置された「議員定数調査特別委員会」

において検討を重ねてきた結果、村の人口や財政状況を考慮し、2人を削減することに決定した。

忠類村議会の議員定数の変遷については、分村当時の昭和24年から8年間は16人、昭和32年から16年間は12人、昭和48年から32年間は10人であった。



議員定数調査特別委員会



# 第15期議会

定数 8 人

[平成17年9月] → [平成18年9月]



## 選挙と議会構成

任期満了による第十五期村議会議員選挙は、平成十七年八月二十三日に告示され、次の八人が無投票当選した。

### ■議員名簿

杉坂 達男（六期・農業・上忠類）  
中村 弘子（二期・商業・錦町）  
齊藤 順教（三期・僧侶・幸町）  
増田 武夫（九期・無職・錦町）  
草野 奉常（四期・農業・豊成）  
岡田 和志（二期・林業・元忠類）  
大坂 雄一（四期・商業・本町）  
南山 弘美（五期・農業・西当）

### ■議長・副議長

改選後の初議会となった、平成十七年九月の第二回臨時会において、正副議長の選挙が行われ、議長に杉坂達男議員、副議長に南山弘美議員がそれぞれ当選した。

議長 杉坂 達男      副議長 南山 弘美

### ■常任委員会（委員長、副委員長を示す）

平成十七年九月の第二回臨時会において、総務産業常任委員会の委員が次のとおり選任され、本会議終了後開催された委員会で、正副委員長が次のとおり互選された。

### 総務産業常任委員会（定数八人）

齊藤 順教   草野 奉常   委員 増田 武夫 大坂 雄一、  
南山 弘美、岡田 和志、中村 弘子、杉坂 達男

合併特別委員会（委員長、副委員長を示す）

平成十七年九月の第三回定例会において、合併特別委員会（全議員で構成）が設置され、本会議終了後開催された委員会で正副委員長が次のとおり互選された。

齊藤 順教。草野 奉常 委員 増田 武夫、大坂 雄一、  
南山 弘美 岡田 和志 中村 弘子、杉坂 達男

## 一般質問・意見書・決議

平成十七年九月 第三回定例会

### 一般質問

・増田 武夫（合併後の忠類担当助役の権限について他一件）

・南山 弘美（市街地域の活性化について他一件）

### 意見書

・地方交付税の総額確保と財源保障・調整機能の充実強化を求める意見書

・義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

・緊急に万全のアスベスト対策の実施を求める意見書

・国の季節労働者冬期援護制度の存続・拡充を求める要望意見書

・北海道の消費生活相談体制の充実を求める意見書

平成十七年十二月 第四回定例会

### 一般質問

・増田 武夫（合併後の準職員、臨時職員の処遇について他一件）

・齊藤 順教（新しい道の駅の管理運営について）

### 意見書

・庶民大増税・消費税増税に反対する意見書

・安全性を科学的に評価できない米国産牛肉輸入再開に反対する意見書

・在日米軍再編「中間報告」の撤回を求める意見書

・道路整備財源の充実強化を求める意見書

# トピックス

## 最後の定例議会

「平成17年第4回村議会定例会」が、同年12月8日に招集され、会期を9日までの2日間に決定し、遠藤村長からの行政報告、通告による一般質問のあと、補正予算など議案24件を審議し、同日閉会した。

一般質問では、2議員から3項目についての質問があり、昭和41年から始まっ



議事堂に別れを告げる議員

た「通告による一般質問」は、齊藤議員の「新しい道の駅の管理運営について」の質問が最後となった。

昭和24年の開村以来、56年間にわたり行政とともに歩んできた議会は、今回が忠類村議会として最後の「定例議会」となった。様々な思いを胸に、各議員が議事堂を後にした。

## 「議事堂閉鎖式」を開催

議事堂閉鎖式は、議長が招集した特別議会として、全議員と村長ほか幹部職員が出席し、平成18年1月31日に議事堂で開催された。

議事では、「議事堂の閉鎖について」「新生幕別町南玄関としての発展に関する決議」をそれぞれ可決した。また、議事のあと、全議員が一人ずつあいさつし、今までの議員活動を振り返るとともに、



議事堂閉鎖式

在任特例による新町の議員としての抱負を述べた。また、村長以下幹部職員も涙ながらに村の思い出を振り返るなど、議事堂閉鎖式は厳粛な雰囲気の中で進行した。

最後に、杉坂議長が「村の礎を築いた先人の方々に敬意と感謝の気持ちを表したい」とあいさつし、議場正面の村旗、道旗、国旗を降納し、閉会した。